大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　四月十六日

本紙定價 一部五錢 一ヶ月一圓 / 廣告料金 普通一行 一圓三十錢 特別同 二圓五十錢

發行所 新京永樂町 新京日日新聞社 電話三二五・三三〇〇

發行人 十河榮忠 / 編輯人 松本勇 / 印刷人 水越內之介

支那紡五會社に東拓救濟を講ず
裕元、華新、北津、恒源、寶城
委任經營の形式で

【東京國通】東拓の支那紡績業救濟乘出しは時節柄各方面の注目を惹いてゐたが、東拓ではその後買收乃至委任經營の申込みを受けた各紡績會社の業態につき愼重調査を遂げた結果、愈々申込み會社中左記數社を委任經營することに決定し目下その條件につき折衝中であるが近日中具体化する模樣である、右五社の社名は裕元、華新、北津、恒源、寶成で右五社は最近著しく業績低下を示し操短率の如きも華新五割、寶成三割、裕元七割、北津休業、恒源休業等極端な操短が行はれてゐるにも拘らず殆ど全部が赤字の窮地にある

臺灣銀行 對岸在支日本商人に低利融資

【臺北十六日發國通】昨夏開催された對岸在支、領事會議の希望に鑑み臺灣銀行では對岸在留日本商人を救濟する事となり、その第一着手として本年五月一日より福州、廈門、廣東、汕頭四支店で低利資金融通を圖ることに決定した、融資總額は最少制限を設けず貸出し利率も出來るだけ低利とし手續きも簡單にする筈である

奉天省金川、海城に無限大鉛鑛發見
滿洲鉛鑛會社設立されん

【東京國通】滿洲に於ける鉛工業は從來日滿工業會社(資本金五百萬圓)が滿洲國當局の委囑に依り奉天省金川縣及び海城縣內の國有礦區に於て採鑛中のところ最近同地方に無限良質の一大鉛鑛脈の存在すること確めらるるに至つたので愈よ本格的にその開發に努める事となり新たに滿鐵の技術資本を動員して滿洲鉛鑛會社(資本金五百萬圓)を設立するに決し近く奉天に於て創立總會開催の運びに至る筈である

新嘉坡政廳 機密擁護法を議會に提出

【東京國通】在シンガポール郡司總領事より外務省への着電によればシンガポール政廳は十五日の立法議會に對し突如機密擁護法草案を提出する事となつたが政廳の公表に從へば右草案の要領は一九一一年及び一九二二年の英國議會が制定した機密法を基礎とし之にマレイ地方の實際的必要を加味變革修正を加へたものであり間諜、不法通信、間諜隱匿、公文書僞造、禁止區域侵入等に對する取締罰則並に本法犯罪に對する報告義務、電信內容の提出要求に對する總督の權限罰則其他手續上の補助的條項を網羅する長文のものであり、英帝國極東政策の根幹をなすシンガポール要塞の機密擁護に可能的の一切の取締りを行ふ可きものとしてその重要性につき各方面とも多大の注意を拂つてゐる

皇帝御歸還警衛 關係當局協議

皇帝陛下の御歸還御警衛に關し、十六日午後二時から關東軍會議室で關東軍、關東局、憲兵隊、新京署、滿洲國各警備關係者が集合し打合せ會を開催した

大帝の英靈に親しく御拜禮
皇帝桃山御陵御參拜

【京都國通】彌春の舊都に關西御巡遊第一夜を過させられた皇帝陛下には、十六日午前六時過ぎ、早くも御起床御朝餐を召されるや、かねてより御敬慕厚き明治大帝の英靈しづまり給ふ桃山御陵に御參拜あらせらる可く陸軍御通常禮裝に大勳位副章を御佩用林扈伴員御陪乘、沈宮內府大臣以下隨員を從へさせられ、自動車にて午前九時五十分御旅館都ホテルを御發、御沿道に集る奉拜者の中を京都驛に向はせられ、同十時御召列車にて同驛御發、見渡す限り麥畑、點綴される菜の花など麗らかな洛外の風光を車窓にめでさせられつゝ同十四分桃山驛に御着あらせられた　驛前より御沿道にかけて深谷〇〇留守司令官以下將校團、伏見各中女小學校生徒、伏見區長以下各名譽職其他一般奉拜者の奉迎裡に自動車に召されて春光煕々とあまねく降り注ぐなかを御陵に御着、便殿にて渡部諸陵頭、勝田陵墓監以下に賜謁、終つて御手洗の後勝田陵墓監御先行、渡部諸陵頭の御先導で宇治の白砂すがすがしく敷きつめられた玉垣內を御足音も肅々御參入、御拜所にて花環を御親ら案上に奉奠、恭々しく御拜禮あらせられたが大帝の御偉業を偲ばせられて御感慨ふかく暫し御立去りがたき御樣子に拜され、續いて御徒歩にて東陵に御參拜、同じく花環を御陵前に捧げられて日本女性の鑑と仰ぎまつる昭憲皇太后の御遺德をしのばせ給ひ

便殿

にて御少憩後御召自動車にて桃山驛御歸着、同十一時五分桃山驛御發、同十九分京都驛到着再び鹵簿を整へさせられ都ホテルに御歸還遊ばされた

バルコンより 京洛の朝景色を御覽

【京都國通】都ホテルに關西第一夜をお明かしになつた滿洲國皇帝陛下には十六日午前六時御起床になり、バルコンより京洛の朝景色を御覽遊ばされたが山々を包む紫雲も次第に薄くなり、東山は山影を現はしだした、測候所は曇後晴を報じ桃山御陵御參拜の絶好の日和である

皇帝をお迎へして 憲、丁兩氏交々語る

【京都國通】皇帝陛下を奉迎した肅親王遺子憲容氏は語る

皇帝陛下には一年振で拜顔しましたが益々御健やかの態を拜し御喜びに堪へません、何時拜謁するか決まつてゐません、私は滿人の一人として京都市民の熱誠振りを見て感激に堪へませんでした

丁志芳氏は語る

皇帝陛下の御英姿に初めて接し感激の外言葉がありません、私も有爲の人たるべく勵み御國の爲に役立ちたいと願ひます

附屬地の特殊事情 飽迄考慮の中に
治法撤廢第二回現地委員會

關東軍司令部發表＝第二回治外法權撤廢現地委員會は十六日午前十時より關東軍司令部第一會議室に於て西尾委員長司會の下に開催、當日は委員及び幹事の外特に關東軍より板垣參謀副長、矢野少將、關東局より長岡總長、關東憲兵隊岩佐司令官、滿洲國より大館法制局長、大橋外交部次長、星野財政部總務司長、古田司法部總務司長、松本秘書處長、長尾民政部警務司長、田中財政部理財司長、等の諸氏出席

過般來の幹事會で研究した附屬地行政權調整撤廢要綱案に就き討議を重ね附屬地の特殊事情を考慮し急激な變化を生ぜしめざる樣、附屬地外治外法權の撤廢と雁行して調整撤廢すべき旨を研究決定し中央に申達する事として散會した

會商打開策の懇談に 蘭印經濟長官來朝

【東京國通】十四日下關入港來朝した蘭印經濟長官ハルト氏は十八日外務省に於て廣田外相と會見、決裂に陷つてゐる日蘭會商打開並に日蘭經濟問題全般に關し重要懇談を遂げることとなつたが、ハルト氏今回の來朝目的は蘭印官民の對日認識が極めて不正當である事實は曩にバタビヤ政府會商に於ても日本側代表の遺憾とした事であり、蘭印經濟長官の地位にあるハルト博士が今回旅程を變更して訪日し廣田外相をはじめ民間有力者と隔意なき日蘭經濟關係に就き懇談せんとの態度を示した事に就ては各方面から相當好意を以て迎へられてゐる

新京特別市私塾取締暫行新規則

最近滿人間に日語熱が勃興し又一般向學心も著しく擡頭して來たのに伴ひ私塾の數が益々增加し新京特別市內だけでも其數三十近くに達したが、その中にはいかゞはしいものあり從來の取締り規則では不備の點も少くなかつたので今回特別市公署教育科では左の如き暫行新規則を制定、四月一日より實施する旨公布した

第一條 新京特別市區域內に於て私塾を設立せんとするものは本規則の規定に依り特別市公署に許可の申請をなすべし

第二條 私塾の許可申請書には左記各號を記載すべし
一、設立地點
二、塾師履歷
三、教授科目
四、學費

第三條 左記各號の資格の一を具ふるものは塾師たることを得
一、師範學校卒業者
二、新舊制中學校卒業者
三、師範講習所或は師範學校講習科卒業者
四、曾て塾師試驗に合格せるもの
五、國學に通曉し小學校學科二種以上を教授し得るもの

第四條 許可を申請せる私塾は新京特別市公署の審査に合格し指令ありたる後始めて設立することを得

第五條 私塾は市私立學校と近接して設立するべからず

第六條 私塾は經書及古文を教授する外少くとも現行學制小學校教授科目中二種以上を選擇して教授することを要す

第七條 私塾は教授法の研究改善に注意し兒童の身心の發達に努むべし

第八條 私塾の教材にして經書古文を除く外の其の他科目に付ては國定或は沿用を許可せられたる教科書を用ふべし

第九條 特別市公署に於て私塾採用の教材及教授法にして矯正の必要ありと認めたるときは塾師は直ちに遵照辦理すべし

第十條 特別市公署は必要と認めたるときは塾師資格審査に試驗を行ふことあるべし

第十一條 特別市公署は塾師の資格を審査し不合格と認めたるときは其職務を停止す

第十二條 私塾學費は每一人各月國幣一圓を超ゆることを得ず

第十三條 本規則施行以前に已に設立されたる私塾は第六條の規定に依り科目の改正をなし並に第二條の規定により一個月內に特別市公署に許可申請をなすべし

第十四條 本規則は康德二年四月一日より之を施行す

軍用機九機 八日市チチハル間大飛行

【八日市國通】滋賀縣八日市飛行第三聯隊では將校空中勤務者に日滿主要航路及地形を認識せしめる目的を以て來る十八日から廿四日まで八日市チチハル間の決死的大飛行を實施することゝなつた、指揮官は石田聯隊長自ら飛行機に搭乘、參加機は整備成れる八八式偵察機九機、飛行日程は第一日は午前四時三機三編隊となつて八日市を出發し太刀洗に着陸の後一千六百八十キロを飛んで奉天に到着、第二日は奉天—淩源—チチハル六百廿五キロ、第三日はチチハル—博克圖—ハルビン七百十五キロ、第四日はハルビン—牡丹江—敦化—新京六百九十キロ、第五日は新京—奉天二百八十キロ、第六日は奉天にて性能試驗飛行の後第七日歸還の途に就き午前五時奉天を發し途中京城にて給油し一千三百九十三キロを突破午後四時八日市歸還の豫定で總行程五千三百八十三キロ飛行時間三十三時間四十五分、軍用機を以て一氣に內地から滿洲に飛翔する日本航空界稀に見る大壯擧として各方面より期待され參加員一同十八名緊張し待機してゐる

陸軍花嫁學校 二日から開校

【東京國通】陸軍では今度日本婦道に生る花嫁御の養成を目的とする陸軍花嫁學校を開校し非常時日本に於ける浮薄なモダンガールを一掃しやうと意氣込んで居る、學校は澁谷區千駄ヶ谷の聖和學園を校舍に充て校長さんには陸軍の元老大島健一中將が就任、講師には各大學の教授を始め各方面の一流專門家を依囑し來る五月十四日から開校の段取りである、入學資格者は戰死した將校の遺族及び在郷、現役將校の令孃で學力は女學校卒業程度とし授業料は一切無料、先づ百名を募集の上日本國體の眞髓をトップに法律、常識、育兒法、家庭衛生、經

政友會總務 山口義一氏

【東京國通】政友會總務山口義一氏は腎臟病の爲二月一日以來慶應病院に入院西野博士の治療を受けてゐたが、數日前から容態惡化十五日午後心臟痲痺を併發遂に十五日午後八時逝去した　享年四十八

大田駐露大使 今夜九時着京す

歸任の途にある大田駐露大使は十六日午後九時新京驛着大和ホテルに投宿するが一行は十名で一兩日滯在して關東軍首腦部その他と打合せのうへ一路モスコーに向け出發の豫定である

支那閨秀作家 早大入學

【東京國通】日本文學の愛好者として知られてゐる支那の閨秀作家謝泳瑩(二八)さんは昨年秋來朝以來先づ話す日本語の勉強を續けてゐたが、最近漸く大學の講義が判る程になつたので今度本間久雄、新居格氏等の斡旋で念願通り早稻田大學文科に入學する事になつた

その日〳〵

□大帝の御陵を訪はせ給ふ皇帝陛下、明治大帝の御心を心とせらるゝ畏し

□東拓の支那紡救濟具体策なるかしかし委任經營でゆくところ拔目がない

□自力で學資を稼ぎ上級學校に入學した學徒あり、近ごろすねかじり學生に清涼劑

□陸軍で花嫁學校、いゝことには違ひないが何から何まで御苦勞なこと

□自動車ギャング新京に現る、近代都市にならつての流行でもあるまいが……

人事往來

▲太礎義男氏(滿洲電業會社技術部次長)十五日午前來京名古屋ホテル投宿
▲古川逢四郎氏(北鮮鐵道管理局員)十五日午後來名古屋ホテル投宿
▲牧野豐助氏(鞍山住友會社重役)同
▲長谷川鐵太郎氏(大日本電線會社々長)同
▲田中伊三郎氏(兵庫縣會社員)同
▲森茂三郎氏(奉天機械商)同
▲佐々木四郎氏(奉天鐵道事務所員)同
▲竹內節三氏(滿鐵社員)同
▲山本健次郎氏(貴族院議員)十五日午後來京
▲小宮陽氏(關東軍經理課長)同ヤマトホテル投宿
▲草間秀雄氏(滿洲採金會社副理事長)同發奉天へ
▲佐藤三郎氏(陸軍大佐)十六日午前發公主嶺へ
▲伊澤道雄氏(鐵路總局次長)同來京
▲河本大作氏(滿鐵理事)同
▲入田嘉明氏(同副總裁)通過ハルビンへ
▲山口十助氏(同鐵道部次長)同
▲大村卓一氏(關東軍交通監督部長)十六日午前發ハルビンへ
▲草間大佐(滿鐵顧問)同
▲臧式毅氏(民政部大臣)同奉天へ
▲田邊敏行氏(前滿鐵理事)同
▲武部治右衛門氏(滿鐵商事部長)十六日午前通過ハルビンへ
▲三澤糾氏(東京文理科大學教授)十五日午後來京ヤマトホテル投宿
▲阿部重兵衛氏(三井物產大連支店長)同
▲馬場武一氏(東京會社員)同
▲奧村芳雄氏(大連會社員)同
▲加納盛吉氏(尼ヶ崎會社員)同
▲植村彦四郎氏(神戶會社員)同
▲三浦義臣氏(滿鐵社員)十六日午後發大連へ
▲染谷保藏氏(盛京時報社長本社代表)十六日正午發奉天へ
▲竹內德亥氏(奉天省總務廳長)十六日午前來京國都ホテル投宿
▲浦田哲一氏(會社員)同
▲池田城儀氏(京城日報記者)同
▲加來徹天氏(奉天會社員)同
▲市川宗助氏(奉天商工銀行專務)同
▲薄田精一氏(大坂屋號顧問)同
▲岡部車氏(教諭)同
▲狩野仁一郎氏(日本ヒクター會社員)同
▲堀川鐵造氏(滿鐵社員)同

女八人感激時代 最後の切札八枚

(合作) 柳咲子 大林梅子 若水絹子 深澤潤子 早川雅江 木下双葉 飯田操子 (挿畫 大村隆丈畫)

誤解された純情 10 從妹 (二) 若水絹子作

彼女は初めて人生の生き甲斐のあることを泌々と感じてゐるのだつた。彼女の少女時代が、女學生時代、たゞ今日のこの喜びのためにのみ存在してゐたやうにさう思はれてゐた。

永見の心にも、球惠と云ふものが、だん〳〵と離れ難い存在になつてゐた。だが、少年時代の彼は、姉と二人切りの姉弟だつたので、常に聡明な姉の感化をうけてゐる彼は、女性に對しては至極消極的な氣もちしか持つてゐないだつた。從つて女性に働きかけて、その心持を動かし、そしてそれを占有してしまふと云つたやうな、普通の男性の持つてゐる氣持は少しもなかつた。

彼は球惠と知り合ひになつた時から、彼女の上品な美しさにかなり心を惹かれたことは事實であるが、彼女と活動へ行つたり、その邊りに散歩したこと、嬉しいことにはちがひなかつたが、しかし、それかと云つて、あゝいふ機會を利用して、二人の關係をもつと密接なものにして行かうなどと云ふ考へは、少しも思つてゐなかつた。たゞ球惠と云ふ女性と一緒にゐることは、中學生時代によく姉と一緒にどこかへ出かけて行つた時と同じやうな、安易な親しさを感じてゐるに過ぎないのだつた。

年は、自分よりも球惠の方が二つ三つ下であつても、球惠のどことなく落着いてゐるすべてが、何となく姉のやうな懐しさを感じさせるのだつた。

角砂糖をつまんでコーヒーの中へ入れてゐる球惠の、華奢な指先を、永見は美しいものに思つて眺めてゐた。と、球惠はそれに氣が注いて

『あら、あたくしの指、ずゐぶん形が惡いでせう！』

と、云つて、自分の指先をちよつと眺めるやうにした。永見は周章てゝ打ち消すやうに、

『いゝえ、そんなことありませんよ。あなたの指あんまり美しいものですから……』

と、言つた。

『でも、タイプライターを打つてゐますと、段々指の形が惡くなりはしないかと心配ですわ』

『どうしまして、そんな心配少しもないぢやありませんか』

永見は、お世辭なくさう云つて、もう一度球惠の指先に眼をやつてゐた。球惠は微笑しながら、スプーンでお茶をかきまぜてゐた。

薄茶色の縞の御召が、その長身にたくみに着こなされて、すんなりした肉そのものゝ曲線をあらはしてゐるのを、永見は美しいものに思つて見てゐた。

『僕は最初、あなたはとても位が高くて、すましてゐらつしやるのでお話なんか出來ないかたとばかり思つてゐました』

『あら、あたくしそんな風に見えますかしら？　でも、それがあんまりお饒舌でしたから、吃驚なさつたでせう』

『そんなことありません。僕は偶然お知合になることが出來てこんな幸福はないと思つてゐるんです』

『まあ』

球惠は、故意とおどろいたやうに、永見の顔を見上げたのだつた。そして、內心では自分も永見と知合つたことをどんなに幸福に感じてゐるのだつた。

春・街頭に織りなす兇暴譜

二人組邦人ギャング 自動車運轉手を襲ふ
背後から絞めんとし果さず刺し 所持金全部を奪ひ逃走

大連沙河口署管內自動車ギャング事件が自動車業者に一大戰慄を與へてゐる折柄十五日午後十時頃新京驛より客を装ふて富士屋タクシーに乗つた二人の日本人青年紳士が中央通を南に關東軍司令部を過ぎ北安路三菱康德會館を右に廻り白菊小學校下にさし懸るや、今までの紳士は急にギャングと變り運轉手榊原新一氏(二六)の胸部を短刀で一刺し突き刺し所持金十圓を強奪逃走したが、第二大連ギャング事件として新京業者に大衝動を與へてゐる（寫眞は榊原運轉手）

"金を出さねば一刺し"と 一刺しの上又擬す
運轉手としばしは大格闘

十五日午後九時五十分頃市內蓬萊町富士屋タクシー運轉手愛知縣知多郡野間村大字野間字富貝崎七十五番地生れ榊原新一氏(二十六年)が自動車二一二號を運轉し國都ホテルより十時の

汽車 に乗る客を驛に送り歸らんとするや一見二十五六歳の會社員風の男が「おい關東軍司令部の前までやつてくれ」と乗車中央通りを關東軍司令部前に到つたが客は何も云はぬので運轉手は大同大街を進むうち北安路交叉點に來た時客の一人が「おい右にやれ」と命じたので北安路を忠靈塔の方面に進み丁度白菊小學校の崖下に差しかゝつた時停車を命じるや否や運轉台の榊原の背後より首を絞めんとしたので榊原は体をかはして後に向き直つた瞬間刄渡三寸餘の白鞘の短刀を振つて胸部第一肋骨を左サ骨の中迄突き刺し「金を出せ」と一聲叫ぶや否や躍りかつて來たので車外に飛び出し二人は上になり下になり組打ちを續け約十間程來る時榊原は胸部の刺創に耐へ兼ねてひるむ隙についに組み伏せられ咽喉に短刀を擬して「金を出さねば一刺しに刺し殺すぞ」と威脅遂に懷中より現金十圓と榊原の印鑑一個、名刺若干を奪ひ取るや否や左手高台を雲を霞と逃げ去つた全身鮮血に染つた榊原は聚合住宅の方向にあへぎ〱

進む 中幸にも明治タクシーのライトを認め漸く助けられ西公園派出所に運ばれそこで事件の顚末を屆け出で深町醫院にて應急手當を施し入院加療中である、一方急報に接した新京署及び新京領事館署では直ちに署員の非常召集を行ひ市內に非常線を張り徹宵犯人逮捕につとめたが夕刊締切りまでには逮捕に至らなかつた

「金を出さねば刺し殺すぞ」と云ふので「刺すのはやめ金はやる」といふや否やポケットから十圓と印鑑

榊原運轉手 當時の模樣を語る

被害者富士屋タクシー運轉手榊原新一氏は深町醫院三階三十六號室のベットの上で當時の模樣を語る

國都ホテルの客を十時の汽車に送つて歸らうとすると二十五六歳位の會社員らしい二人の客が關東軍司令部前までやつてくれといふので前まで來たが何も云はぬので三菱康德會館の所まで來ると右へやれといふので北安街を西に進む中丁度白菊小學校の下手學校の中間位の所で車を停めさせるや否や小柄の男が後から首を絞めかかつたので後へふり向いた時短刀で胸をやられました一刺し刺してから「金を出せ」といふなり組みついて來たので車外に出て組打ちをやりましたが向の方が身体が小さいのでいつも私が組み伏せてゐたが胸の傷と右手の傷がいたみ血がふき出すので次第に元氣がなくなりとうとう十間程引ずられる中に組み伏せられ咽喉に短刀を擬して名刺を一摑みにして左手の高台を附屬地の方へ逃げて行きました、ライトの光で見ますと賊は血で眞赤に染つた手袋を脫ぎ逃げて行きました不思議なことに一人の体の大きな方は始終何もせず見てゐました、それから私は胸の傷から血が吹き出て止まらぬので附近の聚合住宅へ行かうと二三十間歩くうち明治タクシーが通りかゝつて助けられました、何も怨をうけるやうなことはなくギャングの一味であることは間違ひないと思ひます

大連のギャングと同一犯人か
犯人の目星はつく

昨夜の自動車強盗犯人二人は未だ逮捕に至らぬも其の手口から大連の三人強盜の手口と酷似してゐるので或は同一犯人かそれとも大連の手口を眞似たものかともみられてゐるしかし警察當局は大體犯人の見當を得たものの如く足跡追及に夜來活動を續けてゐる

模範運轉手 富士屋タクシーで語る

富士屋タクシーでは語る どうもいろ〱御心配をかけます、榊原君は昨年八月から勤めてゐますが同僚との仲もいたつてよく、他人に怨みをうけるやうな事は決してありません、仕事も眞面目で私の方でも喜んでゐたのですがとんだ災難でした幸に傷は大したこともなくて何よりでした

榊原君の傷は 生命には別條ない

深町醫院久場外科醫長は語る 榊原さんの傷は胸部第一肋骨と左サ骨の間に深さ二センチ長さ三センチ半の刺創と左手の人差し指にたてに四センチ位の傷です生命には別條ありません二週間位で癒るでせう

大屯署の警士襲はる

十六日午後二時ごろ大屯署胡占山警士が管內巡廻中二名の怪漢に襲れ所持の長銃を強奪され瀕死の重傷を負つてゐるを部民が發見本署に急報するとゝもに自衛團員が大活動をなし午後六時ごろ犯人が小合隆萬家橋附近を逃走してゐるを發見一名を射殺した目下各署で連絡し犯人一名を捜査中

二人組の拳銃強盜 家族三人を慘殺 電業局經理科員宅で
犯人は阿片を呑んで逃ぐ

十五日午後四時三十分頃新京城內北大街門牌十三號電業局經理科勤務趙國賓(四八)宅に二人組拳銃所持の賊侵入し主人趙を始め趙氏の妻女古氏(四三)同子供所子(十三)を縛り上げ奥の間に侵入し阿片をたら腹吸飮し家內隈なく捜査し國幣百圓、金指輪一個金時計一個を竊取、歸りがけにその場にあり合せた肉切庖丁を振つて趙を始め妻子を滅多斬りにして慘殺即死せしめいづれにか逃走した、午後八時頃隣人が行き始めて慘劇のあつたこと判明、直ちに首都警察に屆け出た尙賊は逃走に際して「うらみを晴すためにやつた」といふ意味のことを走り書きでしてあつたのと現場の指紋血痕を唯一の手がかりとして首都警察では管下各署と呼應して犯人逮捕につとめてゐる

附屬地防護團 幹部以下顔觸れ
正副團長に武田、四戸兩氏

來る新京防空演習に關し附屬地防護團編成の打合せ會は十六日午後一時から地方事務所會議室で開催されたが、同防護團の編成は本部を地方事務所內に置き團長に武田地事所長、副團長に四戸鄕軍聯合分會長をはじめ庶務配給、警防衛生、會計、工作の各係には地方事務所各係長級を宛てる方針で防護團の組織は

△第一分團 鐵北區
△第二分團 富士、三笠、祝、朝日、入船、吉野、日本橋の各區
△第三分團 中央通、西廣場兩區
△第四分團 白菊區、新發屯方面

ほかに鐵道防護團として古川鐵道部出張所長を團長に神代新京鐵路局總務處長、稻川新京驛長を副團長として十二分の機能を發揮しやうといふにあり、各團長以下各班長の顔觸れも決定することになつてゐる

疾走のトラックから 飛降り損ね死亡
眞つ晝間日本橋通りの椿事

十六日午前十一時ごろ八島通二十四番地正隆號トラックが砂利を滿載南關から日本橋へ向ひ疾走中日本橋橋上に至るや右車上に乘つてゐた石見組南關詰所員永野丑五郎(二七)は飛降りんとして過つて網にひつかゝつて十數間引きずられ右大腿部を骨折直ちに松本醫院で應急手當の上滿鐵醫院に收容手當を施したが遂に正午絶命した

大連三人組ギャング 犯人一名逮捕
後の二人は北上した模樣

【大連電話】去る十日未明星ヶ浦街道にて自動車運轉手を襲撃し金品を捲き上げた三人組拳銃ギャングの一人佐藤正一(二三)は十五日午後六時市內獨立町獨立ビル內東洋モーターズに飄然と舞戻つたところを豫て手配中の沙河口署員に有無を言はさず逮捕された、犯人の自供によると犯行後彼等三人は晝は山中に野宿して夜行を續けながら徒歩にて十三日朝三十里堡に辿りつき前記佐藤は大連に戻ち二人は北に向つたことが判明した犯行に使用したピストルは玩具だと稱して居り佐藤の懐中には大枚二錢と支那饅頭一個を所持して居た

新京武道界の 中堅の人々を語る（五）
天覽試合出場

新京中學校劍道教師 ◇……宮內孝先生

氏は埼玉縣出身で往年地方、中央で活躍された立憲憲政會の領袖宮內翁助氏の令孫である翁助氏は幼少より劍術を修め當時江戸の形力流伊庭軍兵衛先生に學び範士級の劍士で又有名な漢學者で多くの著書あり嚴父も赤日本劍道の最權威の範士高野佐三郎翁の愛弟子で北辰一刀流、小野派一刀流の極意を修め劍道七段教士宮內純先生である純先生は埼玉縣武德會支部教師たりしも先年勇退され埼玉縣久士比町在の本邸で閑日月を俳句によりて樂しまれ居る、尤も一面俳壇界の權威者である、令兒勝氏は粕壁中學當時の劍道部主將で現在では練士五段の肩書で家庭の都合上父君の許にて豪農の采配を振ふて居る

◇

氏は如上の樣な劍士で名門に生れ早くも粕壁中學四年生の十七歳の時初段、翌年二段に躍進、翌昭和六年四月高師體育科に入學、七年十二月三段九年四月四段に進む、柔道の篠原、山岡氏の樣な武勇傳はないが五尺七寸十八貫五百の均勢とれた型のよい劍士で昨夏全日本學生劍道聯盟鮮滿武者修行團の一員として遠征中全朝鮮軍と京城に應戰せし同氏は得意の面で鮮かに三段一名四段五名の六名を倒し見事學生軍快勝となつた、次で大連で戰ひ國都新京に遠征し商業學校で全新京と戰つた時は學生軍十二名で全新京二十五名を破り學生軍十三名勝殘となり氏は四將あたりに居つてオゾ〱して居つた一行は滿洲國宮廷府に招かれ宮中に於て天覽試合を爲した時氏は高師の中村四段と世界に誇る帝國劍道の型を天覽に供し奉り親しくお褒の光榮に浴した

◇

これによりても氏の劍道の型は正に日本を代表すべきもので嚴格な家庭に育ち薰陶を受けたから規律あり禮式あり膽力ある一面熟のある溫情な人だから初心者や生徒にとつては氏の君臨は一大福音といふべきでバスケットボール、蹴球、水泳は學生時代の選手でスポーツはなんでも御座れだ本年も內外より國都新京へ遠征軍が襲來するといふから華々しい妙技を拜見させらるゝ日も近い、大いに健鬪あらんことを心から祈るのみ

高山前署長住居

前新京警察署長高山勝司氏は過般歸鄕自今東京市目黑區三谷町二十番地に居住の由

太田小兒科醫院

元滿鐵醫院小兒科勤務太田友安氏は今回市內常盤町一丁目十二番地（新京神社横）に太田小兒科醫院を開業した

新京句會 十八日例會

同人新京句會では十八日午後七時より曙町四丁目十四ノ三南宅において例會を開催する多數同好者の來會を希望してゐる

兼題 雲雀 五句

山岡五段歡迎 柔道大會

十八日午後四時から商業學校運動場で山岡柔道五段の歡迎柔道大會を開催し終つて同六時から地方事務所會議室で歡迎會を開くことになつた

熙大臣令姉

【吉林國通】熙財政部大臣令姉德惠縣稅捐局長田夫人は豫ねてより宿痾にて來吉、牛宅胡同の同氏公館內に養生中の所昨朝午前八時病革り遂に死去した享年五十四

仙人掌

▲新裝成れる「世界」に行くとたんに直江と呼ぶ二日に佐賀から新輸入といふが現はれわれら嬉しくなつちやつた、彼女南の國の椿の花の如き脣をしとるです、笑つた顏が婉然としてさながらに良きです頰をくつつけたり足をくつつけたりして悅に入つたのは誰だ?、▲此處に眞澄と呼ぶ細くして長きひとがゐます、五尺四寸はありませう、相當にシャンに屬する、連れの男しきりに感嘆せり矣!▲生葱に味噌註文したら、大きな皿に玉葱を山ほど切つて赤味噌と白味噌を乘つけて持つて來たのにはおどろいた、店の看板に「味覺の姬御殿」とあるがテモあられもない!

天氣と氣溫

明日の天氣 西の風晴一時曇
日の出 午前四時五十四分
日の入 午後六時二十三分
月の出 午後五時〇〇分
月の入 午前三時四十二分
けふの氣溫 最高 十五度三 最低 〇度七

新撰爆笑隊（禁上映上演）

辰野九紫作　水田八浦關英太朗畫

現代篇　小唄レヴュー（六）　五九

「あら、純毛メリとコットンと與ふんですの?」

「あら、同じかしら……御免なさい、一寸調べてきますわ。」

あたふたと東毛織工場技師山田平藏夫人の許を辭去した彼女は、わが家へ引返して木綿の英語研究を試みる意氣地もなく、けろりとしてその足で遠藤家の留守宅を訪ひ、風呂場の横で洗濯に餘念もない女中を捕虜にした。

「お嬢さん、御精が出るわね」

「油なんか賣つちや居られませんわ。子供が多いと、いくらでも洗濯物の種は盡きませんもの…」

「……ゐないの?」

「えゝお醫者様から公設市場へお廻りですから十一時すぎるでせう。」

「さう、安心したわ。私、此家の奥さん苦手よ。」

「ほほほ、同じこと仰しやいますのね。」

「誰アれ?」

「自宅の奥さんと——」

「まア……その他に何か聞かない?」

「別に何ッてこともありませんけど——默つてゝ下さい。いやですよ、仰しやッちやア。」

「大丈夫、ゲンマンしてもいゝわ。」

「あのオ、斷髪は鬼に角、何もわざく\オキシフルで洗つてまで赤毛にしたがらなくてもよささうなもんだッて……」

「それッきり?」

「そしたら、旦那様もあのモガ・モボのやり口は確達にやわかられえッて……いやですよ、お怒りになつちやア。」

「そんなこと平氣の平ちやんよ——」

いとし糸ひく

雨よけ日よけ
かけた情けを
知りやせまい
テナモンヤ、
ナイカ、ナイカ
道頓堀よ——

「あら、奥さん、その唄、素敵ね。教へて下さいナ。」

「だつて、あんた、そんなに澤山お洗濯があるぢやないの。」

「あつたッて構ひませんわ。何事も緊縮の世の中ぢやありませんか……テナモンヤ、ないか、ないか、道頓堀よ——ですか。」

「左様く、頭腦がいゝのね。それ、浪花小唄ッてのよ。」

「一寸待つて御頂戴——」

と、勵々しい言葉に早變りした女中お嬢は、濡れた手を拭ひもあへず臺所に飛上り、一寸五分ばかりの踏臺を探し出して來て、鼻紙へ何曲を寫さうと身構へた。

「はい、何卒……」

「いゝこと——唄ふわよ。」

戀のサイレン
どこまでとゞく
待てば風ひく
みなとゞく
テナモンヤ、
ナイカ、ナイカ
道頓堀よ——

「わかつたわね、道頓堀ぼオオりよ——よ。」

「えゝいゝわ。さア、お次?」

「あッ、止す御免よ、向ふから歸つて來たわ、苦手が……」

白粉さげて
赤ン坊おんぶして
こんなことゝは
知りやせまい
テナモンヤ、
ナイカ、ナイカ
置いてけ堀よ——

（△—）

ラヂオ

十七日（水曜）新京

午前之部

六、〇〇 ラヂオ體操（滿語）
六、一五 ラヂオ體操（大連）
引續き 入港船の御知らせ（大連）
六、三〇 初等滿語講座（大連） 講師 秩父固太郎
七、〇〇 初等日語講座（奉天） 講師 近藤喜助
七、二〇 朝の音樂（大連）
八、三〇 經濟市況（東京）
九、四〇 經濟市況（大連）
一〇、〇〇 料理獻立（奉天）
一〇、二〇 經濟市況（大連）
一〇、四〇 經濟市況（東京）
一〇、五九 時報（東京）
一一、〇一 經濟市況（東京及大連）
一一、四〇 ニュース（東京）

午後之部

〇、〇一 經濟市況（大連、引續新京）
〇、三〇 ニュース（滿語）
〇、四〇 ニュース（滿語）
〇、五〇 演藝（レコード）（滿語）
二、〇〇 經濟市況（大連）
二、二〇 成人講座（滿語）
　從人說到做人（一） 濱江省立初級中學校長 李鼎（哈爾濱）
二、四〇 日用品値段（滿語）
二、五〇 經濟市況（東京）
三、〇〇 ニュース（東京）
三、三〇 經濟市況（大連、引續新京）
三、五〇 ニュース（鮮語）
四、四〇 演藝（鮮語）
四、五〇 ニュース（英語）
五、〇〇 子供の時間（大連）
　童話 春の植物 大連大正小學校 藤原不二雄
五、二五 氣象通報、番組豫告
六、〇〇 ニュース（東京）
六、二〇 政府公報（滿語）
六、三〇 國民の時間（奉天）
七、〇〇 獨唱、二重唱、四重唱（東京）
　ソプラノ マリア、トル
　アルト 齊藤靜子
　テナー グラハム、バター
　ベース ロイ、マ
　ピアノ伴奏 ワケンレー、フレッド、ゲリー
　ペルシャの花園 レーマン作曲
　一、四重唱 醒めよ、陽は昇れり
　二、テナー獨唱 曙の幻の消ゆる間に
　三、ベース敍唱 新らしき年は立ちかへりぬ
　四、テナー獨唱 イラムの花園は滅び
　五、四重唱 いざ盃をみたせよ
　六、ベース獨唱 ナイシャプルやバロンにて
　七、アルト獨唱 われ時に思ふことあり
　八、二重唱 綠蔭に詩の一卷
　九、ベース獨唱 われ若かりし頃
　一〇、ソプラノ敍唱 されども魂塵を拂ひ
　一一、ソプラノ獨唱 われはわが魂をおくりぬ
　一二、テナー獨唱 あはれ春は薔薇と共に逝く
　一三、アルト獨唱 人々の憧るゝはかなき望み
　一四、ソプラノ獨唱 晨ごとに百千の薔薇は
　一五、四重唱 獅子や蜥蜴は宮廷を守る
　一六、テナー獨唱 ああ懷しき月影
　一七、ベース獨唱 かくてチューリップは晨に
　一八、四重唱 あはれ春は薔薇と共に逝く
七、三〇 歌澤（東京）
　一、助六　二、飛行機 松居松翁詞 歌澤相模曲
　唄 歌澤寅美和壽　三味線 歌澤寅濟子
七、四五 長唄（東京）
　機帶
　唄 芳村伊四郎　唄 富士田吉四郎　唄 芳村伊千十郎
　三味線 杵屋榮次郎　三味線 杵屋和八　上調子 芳村榮四郎
　笛 望月太喜四郎　小鼓 田中佐太郎　大鼓 柏扇吉　太鼓 田中傳左衛門
八、〇〇 連續ラヂオ小說（東京）
　白旗姫物語（三） 村松梢風作 村田嘉久子 汐見洋 森英二郎
八、三〇 時報、ニュース（東京）引續き ニュース
八、四五 ニュース、經濟市況 氣象通報、番組豫告（滿語）
九、〇〇 古樂 滿洲國國樂社
　一、花弄影　二、紅橋映月　三、花六板　四、極樂世界　五、羅江怨
九、三〇 戲劇—大連奧町宏濟大舞臺より中繼—
一〇、〇〇 北滿の時間（露語）（哈爾濱）
　一、講演 現在露西亞に於て好き生活をなすは唯誰ぞ ダヴイドフ
　二、レコード
　三、ニュース

新進青年手合〔其十一〕

先番 高川格（二段）
瀬川良雄（二段）

いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつ

一二三四五六七八九十十一十二十三十四十五十六十七十八十九

粘ぐ

●百一 かノ十
○百二 ぬノ十二
●百三 ちノ九
○百四 るノ九
●百五 ろノ十二
○百六 ろノ十三
●百七 ろノ十一
○百八 はノ十四
●百九 よノ七
○百十 よノ六
●百十一 かノ七
○百十二 ちノ十七
●百十三 をノ十三

六段 久保松勝喜代講評

黒百一を（い）に約へるのは、形も味も惡い。

白百二と斜走して何も黒地を消しに來た。

黒百三は白（ろ）黒（は）白（に）と纏られる樣な手を防ぎ、味も良く大きい手である。

白百四と一寸粘いで置かぬと不安である。

黒百五と頂けたのは大きい。黒百六を白七に飜ね出すと、黒（ほ）白（へ）ならば、黒は（と）と云ふ工合に手が着く。

黒百七は（と）の頂けや（ほ）の截りを嫌ふ。故に白百八は當然ではあるが、此の手を（ち）に約へて置くのが味も良く大きかつた。

即ち黒百九と頂け、白百十と歸ね、黒百十一と行びたのが好點であつた。

白百十二は黒（り）の斷りを防ぐが、さすれば白は（る）に下るも大きいし、黒百十三を（ぬ）の邊から消して來るであらう。

居住消息

▲宮谷晃氏（福岡縣）大連から八島通り番外ノ一滿鐵共同浴場二階へ
▲山岡保孝氏（富山縣）大連から山吹町興安寮へ
▲森下英一氏（和歌山縣）老松町一丁目吉原方へ
▲杉田俊雄氏（廣島縣）八島通り一號ノ十三へ
▲山分友三郎氏（東京府）富士町四丁目四番地丸電洋行へ
▲坪内源逸氏（愛媛縣）彌生町一丁目二番地へ
▲安部赴夫氏（福岡縣）同
▲三浦市松氏（栃木縣）大連から花園町三丁目三十號の一へ
▲布村一男氏（富山縣）公主嶺から、平安町三丁目二號の六へ
▲金籍國松氏（新潟縣）三笠町五丁目一番地澁谷方へ
▲後藤楠氏（大分縣）日本橋通り五十番地中村方へ
▲西邑甚之助氏（滋賀縣）大連から梅ケ枝町三丁目三十番地壽ビル十六號へ
▲越智繁男氏（愛媛縣）旅順から芙蓉町二丁目四番地の九へ
▲林三郎氏（岐阜縣）旅順から梅ケ枝町三丁目三番地壽ビルへ
▲吉留清氏（鹿兒島縣）大連から同
▲宮崎安司氏（大分縣）同
▲高岡靜雄氏（宮崎縣）旅順から同
▲野口敏雄氏（愛知縣）同
▲黒江明夫氏（鹿兒島縣）同
▲齊藤重一氏（愛知縣）同
▲智者敏夫氏（佐賀縣）大連から同
▲高崎茂太郎氏（同）同
▲富永作男氏（長崎縣）同

轉居

▲千島高司氏露月町から泉頭驛へ
▲田中吉廣氏檢事區から平安町敷島寮へ
▲清水修造氏西三條通りから奉天鐵路總局へ
▲關澤武雄氏西三條通りから大連へ
▲松本正文氏五色街から豐樂路清明胡同三百七號へ
▲武藤儀六氏永樂町から平壤へ
▲早野一郎氏興運路から吉野町二丁目十八番地池田方へ

出生

▲大橋千代治氏（露月町二丁目三十三號ノ一）長女滿江さん三十一日出生
▲唐渡健市氏（吉野町一丁目十四番地）長女武子さん三日出生
▲松原清氏（永樂町一丁目四番地）次女京子さん六日出生
▲館重孝氏（露月町二丁目四十號ノ三）長女京子さん三十一日出生

四月十七日　舊三月十五日
水曜　癸亥　大安　危　壁宿

●一白の人　浮かれ氣を抑へ實利を主とし勵めば發展す　甲と乙と丑が吉
●二黑の人　心身共に落付かず旅行移轉開業何れも凶日　丙と丁と巽が吉
●三碧の人　本分に專念なる時は自然の通達を見るべし　庚と癸と丑が吉
●四綠の人　一利を得て第二の利を夢みることなく退け　庚と癸と丑が吉
●五黃の人　外より憂ひ事の生じ來り易し世話事は注意　巽と丙と庚が吉
●六白の人　表に現れざる苦勞の潜む日萬事自重すべし　甲と乙と巽が吉
●七赤の人　徒らに理想のみ高くして實績の伴はざる日　丁と壬と癸が吉
●八白の人　福神に尻向けられぬ樣に氣を揃へ勵むべし　丙と辛と壬が吉
●九紫の人　吉運の日にして陽氣時々刻々に增し來たる　辛と癸と丑が吉

新京日日新聞
朝刊
夕朝刊共十二頁
發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

賑やかな出迎へ裡に 大田大使新京着
今日南司令官と重要協議

日ソ、日滿ソ間に蟠る重要諸懸案の打合せを了へ十一日東京發歸任の途についた大田駐露大使は婦人令孃同伴十六日午後五時半新京驛着あじあで來京、驛頭には西尾參謀長、長岡關東局總長、守谷、吉澤各大使館參事官、阪谷總務次長、大橋外交部次長、大島海軍部參謀長その他關東軍、大使館關東局職員多數の出迎えあり直ちに宿舍ヤマトホテルに入つたが、驛頭に刺を通ずれば

「東京を發つて以來話しつゞけで更めて言ふこともないでせう、新京には二日滯在、各方面を訪れていろ／＼樣子を聞いてみたいと思つてゐる、明日あたり記者諸君とも會つてみようと思つてゐるからその時にゆつくり質問して貰ほふ」と語つた

なほ同大使は十七日午前十時軍司令官々邸において南司令官大使と會見、重要協議を重ねるはずで、會見後大使主催の午餐會に列し、終つて大使館、關東局を訪れ、十八日は國務院、外交部等滿洲國諸官廳を訪問するはずである

午後三時から記者團と會見

十六日午後五時半着あじあで來京した大田駐露大使は十七日司令官々邸における午餐會後午後三時からヤマトホテル會議室において大和クラブ記者團と會見する

國際聯盟理事會開く
提訴動議の成立に大童のラ佛外相
極力ポ、デ兩國外相を說く

【ジュネーヴ十五日發國通】聯盟理事會は愈々十六日午前十一時から佛政府の提訴覺書の審議に入ることとなつたが會議を前にジュネーヴの空氣は頗る微妙な動きを示して居る、佛代表は態度飽迄强硬で十六日の會議劈頭次の問責動議案提出されるものと見られる

一、獨政府の一方的再軍備はベルサイユ條約を蹂躙するものであり法理上到底容認が出來ぬ、國際條約の神聖を保持する上からも遺憾に堪えぬ

一、將來かゝる不法行爲を阻止する爲理事會は分科委員會を任命し經濟上金融上の制裁手段を檢討させる以上佛政府の强硬主張に對しソ聯代表、チェッコ代表は共同戰線を張つて極力支持を與へ英伊兩國代表もストレーザ會議の行きがゝり上贊成の一票を投ずるものと見られるが、理事會に議席をもつポーランド、デンマーク兩國政府はナチスドイツとの親善關係維持を希望し問責決議案の緩和に努めてゐる、理事會の決定は全員一致の必要あり、兩國代表が棄權でもしてくれぬ以上動議が不成立に歸する虞があるので、ラバール外相もフランス外交の面目にかけても動議を成立させやうとジュネーヴ乘込み以來大童である、十五日夜理事會第一日が終ると共にラバール外相は更にベネシュ外相、リトヴイノフ外務人民委員長等と會見、又ポーランド代表ベック外相とも會見して說得に努めた結果理事會第二日の會議では報告委員會が任命されフランス政府の提訴は委員會に附託されるものと豫想される、委員會は三名から成り報告委員にはスペイン代表マダリアガ氏が任命される筈であるがラバール外相は十五日夜最後にマダリアカ氏とも審議を凝す等全く席溫まる遑も無い活躍振りである

理事會第一日 審議に入らず

【ジュネーヴ十五日發國通】聯盟理事會は豫定より遲れて十五日午後三時四十五分開會されたが豫期に反し伊及びエチオピア兩國間の紛爭問題の審議に當り第一日は佛の提訴審議に入らず右問題は明日に持越された理事會は相當紛糾する模樣である

有吉・汪氏の會見
排日取締徹底を要求

【南京十六日發國通】今朝入京した有吉公使は午後四時汪精衞氏を鐵道部官舍に訪問、排日取締の徹底ぜざる點を指摘して嚴重取締の勵行を希望し、之に對し汪精衞氏は公使の要求を認め鋭意努力する旨答へ次いで借款問題原產地表記條令に言及し公使より日本側の意嚮を傳へて會見を終つた、公使は右會見を終つて語る

二十日の龍田丸で歸國することになつたので挨拶旁々汪精衞氏を訪問した譯だ、排日取締り問題に就ては支那側が尙一層の努力をなすこととし、對英借款問題に就ては今日まで何れの交渉も具体的進展をなさぬものと思ふ

尙公使は十六日夜當地發歸國の筈である

海軍辭令

【東京國通】ロンドン軍縮豫備會商に於て首席隨員として山本代表を輔佐した岩下大佐は歸朝以來軍令部出仕兼海軍省出仕となつてゐたが、今回榛名艦長に補せられる事となり十六日左の如く發令された

榛名艦長海軍大佐 水戶春造
吳鎭守府附仰付らる

軍令部出仕兼海軍省出仕
海軍大佐 岩下保太郎
補榛名艦長

大達局長熱河視察へ

大達法制局長は十六日午後十一時新京發熱河方面の地方視察を爲し北支方面を巡遊、廿六日歸任の豫定である

英藏相下院で
大豆課稅方針發表

【大連國通】ロンドン十五日發電に依れば英藏相チエンバレン氏は本日下院に於て一九三五、六年度豫算演說を行つたが同演說中藏相は大豆の輸入に對し左の如き新關稅を賦課する旨發表した

一、輸入大豆に對し從價一割
但し英帝國品は無稅
一、新稅率實施期は本年八月一日

右入報は滿洲特產物の對歐輸出の不調を告げてゐる折柄相當影響あるものと見られてゐるが、之に對する當地當業者の意見を綜合するに

現在のところ英との引合は殆ど皆無の狀態であるので差當り相場に影響を與へるものとは思はれないが對英輸出年額十四、五萬噸にとつて相當の打擊になる事は免れぬと言つてゐる

新情勢に順應して 南米貿易整調へ
跛行貿易を統制し 全面的振興を圖る外務省

【東京國通】日本貿易の中、南米進出阻止の暗躍が米國資本家、米國商人により行はれつゝある事態に就ては日本外務當局は十三日非公式にその意向を表明し、米國政府並に民間當業者の省慮反省を要望したが、これに對し米國官邊の事實無根の辯明ありたるにも拘らず事實は皮肉にもチリー、ガテマラその他各國は日本商品の輸入阻止策乃至高率關稅の決定及びキューバ、ペルー、コロムビア諸國の如きは現行通商條約の一方的廢棄を斷行し日本との求償的新通商條約の締結を要求せんとしてゐる、之に對し日本としても輸出入貿易の一元化共同統制化が必要であり從來の如く輸出貿易、輸入貿易の個別跛行を看過するを得ない立場にあるので所謂輸入を考慮しての輸出新工作を樹立すべく[illegible]對策を進めてゐるが十五日行はれた外務商工聯合協議會では先づ同方面より日本への輸入を獎勵し、全般的貿易振興を圖る爲輸出統制手數料を徵收し以て貿易振興財源の一助とし同時に雜貨輸出等も連絡を執る事に決定した

農業立國を建前に
產業全般の基礎調查
產業調查局で着手に決定

解氷期を迎へて滿洲經濟界は一大躍進期に入つたが各種建設計畫の基礎資料の蒐集整備計畫立案の重要使命を有する產業調查局では專門技術者を動員し農、鑛、工、商方面二十一項目に亘る各般の調查を行ふことゝなつたが、農業立國の立場より農業方面に重點が置かれ、既に北滿の穀倉地帶南滿の綿作地の農村實狀調查の結果に基づき中間報告が行はれ、貴重な資料を提供して居るが更に農產物の生產量調查、農業上の土地利用及び水利調查、土性調查、主要農產物の取引狀況調查、畜產資源調查、緬羊飼育生產地調查漁業調查、森林資源調查等の各項につき踏查さるべく工業方面に於いては全國工場調查水力電源調查、鑛業方面に於いて鑛業資源調查、鑛業經濟調查、主要鑛物の需給取引狀況調查、商業方面に於いて主要輸入品の取引狀況調查、商業團体調查が行はれ滿洲國の產業は凡ゆる角度よりその全貌を明からにされんとしてゐる

呂宜文氏等渡日

外交部通商司長呂宜文氏は熊本、吳、橫濱の三市に於て行はれる博覽會に滿洲產業宣傳の爲め外交部宣化司屬官丁文蔚氏、實業部鑛務司長陳悟氏、同事務官楊蘭州氏、同屬官佐々木龜太氏と共に十六日午前七時發ひかりで渡日の途に就いた

炭業統制
第一回委員會開催

炭業統制委員會に就ては軍幹事たる大幸中佐が各關係當局幹事との間に委員會開催につき打合せ中であつたが、打合せ成り愈々十六日午後二時より關東軍司令部に於て關東軍側、實業部側、滿鐵側、滿洲炭礦側の各委員並に幹事參集第一回委員會を開催し販賣區域出炭量、價格、輸出に對する統制及び未着手炭礦の開發等の諸問題につき協議を進めた

新京署內異動

新京署では十五日付左の通り署員の配置を行つた

警部補補神 田平次郎 警務係を命す
警部補 胡川豐 第三監督區監督を命す
巡查 神田正衞 高等警察係を命す

文教部主催
教科書編纂講習會
五月七日より開催

文教部は小學教科書編纂の趣意及實際教授上の注意すべき點を講釋する爲五月七日より十日まで四日間文教部廳舍に於て講習會を開催し全國の現職に在る教育行政關係者又は中小學校教職員の優秀なる資格と經驗を有するものを選定し受講せしめる事にした、尙講習終了後は此等人員を地方の講師とし各省區市に於て更に講習會を開催し教科書編纂の趣旨を徹底了解せしむる方針である

趙欣伯夫人歸滿

【安東國通】東京に靜養中の趙欣伯氏夫人は十五日夜十一時半、安東通過「ノゾミ」で關秘書帶同奉天に向つたが、隱れるやうに一等車の隅に乘つてゐた夫人を問へば「見つかりましたか」と言ひつゝ左の如く語つた

夫は當分滿洲國には歸りません、恐らく日本に永住するでせう、私は母が病氣なので三週間の予定で歸つて來ましたので直ぐまた日本に引返します、別に外の用事はありません

總局主要驛で 回數、定期入場券

鐵路總局では從來山海關、營口錦縣、奉天總站、撫順、吉林明月溝、延吉、圖們、鄭家屯洮南、濱江、その他三十八個所の主要驛で送迎人に一回五分の普通入場券のみを發賣してゐたが來月一日から同驛で普通入場券の外に六ケ月有效一冊三十枚の回數券、一ケ月有效の定期券をそれ／＼價格一元五角で發賣する

滿鐵 定款の改正
資本對策樹立さる
新社債三億余萬圓發行?

滿鐵は國鐵新線建造並に改築資金の增大に伴ひ十年度以降並に十二年度までに尙三億四千萬圓の資金調達を必要とするに至つて居るが定款による社債總額は拂込株金額の二倍に至る事を得るも資本金總額を超過するを得ずと規定されてゐるので社債發行余力は僅かに二億六千二百萬圓を殘すに過ぎずよつて過般來會社首腦部に於いてその對策を愼重考慮中のところ、現在の社債發行に關する定款の一部を變更して「資本總額と社內保留金の合計額を超過するを得ず」として法定並に諸積立金繰越金(年度現在二億二千萬圓)に相當する發行力を增加することが滿鐵業績の現狀から見て最も妥當であるとし近く政府にその認可を仰ぎ株主總會までに將來の資金計畫に關する根本對策を樹立することゝなつた

全市學童の奉迎大旗行列
歡喜と感激の京都

【京都國通】盟邦滿洲國の若き皇帝陛下を御迎へ申し上げて、明くれば十六日京都市民の歡喜と感激は彌が上にもたかまり各戶はもとより、行き交ふ自動車も自轉車も日滿國旗を飾りつけ、日の丸と五色の奉迎色を以て塗りつぶされ皇帝陛下の御英姿を拜さんものと詰めかける市民は、御旅館都ホテル附近から三條、河原町、四條、烏丸各通りを經て京都驛にいたる御沿道に滿ち溢れ、日滿友好の和やかな風景を描き出した

この日京都市教育部では皇帝陛下の御旅情をお慰め申上げ奉迎の熱誠を表すべく全市學童の大旗行列を行つた午後二時市內卅五小學校六年以上の男女學童三萬五千人は岡崎公園グラウンドに集合、八列縱隊を作り浅山市長を先頭に長蛇の如き行進を起し、手に手に五色の滿洲國旗を打振り皇帝陛下の奉迎歌を高らかに歌ひ乍ら歡喜と感激を街々にふりまきつゝ櫻花爛漫たる花トンネルを通り神宮道を南行して市電疏上線に沿ふて午後三時過ぎ御旅館都ホテル前に出で一齊に皇帝陛下の萬歲を奉唱した

この時桃山御陵の御參拜を終へさせられ御居間にて御休息中の皇帝陛下には沈宮內府大臣側近者と共に先欄のバルコニーと出でさせられ可憐な童の奉迎に御答禮遊ばされた、かくて行列の一行は平安神宮に參拜夕刻解散した

今日の御日程

京都御所御成り午前十時三十分ホテル御發宜秋門から御參入、建禮門、紫宸殿、小御所、御學問所御覽、御學問所前庭にて豐岡圭資子、淸岡長言子、冷泉爲勇子等舊公卿の蹴鞠御覽、次で淸涼殿を御覽(木下內匠頭御先頭)午前十一時半ホテル御着、府市商工會議所催奉迎會—午後三時ホテル御出門、平安神宮御成り、有資格者約一千名、學生生徒約五千名參列奉迎知事奉迎文朗讀、市長發聲にて萬歲三唱、貴賓館御少憩、御歸還(約四十五分間前後)

對滿記者會 近く全滿視察

對滿事務局出入の記者を以て組織されてゐる對滿記者會では近く同局の斡旋によつて全員滿洲國を視察することとなつた

無盡協會總會 新京で全滿

全滿無盡協會昭和十年度總會は本月末新京吉野町一丁目一番地泰信無盡會社會議室で開催の予定

茂木惣兵衞氏

【東京國通】豫ねて宿痾の腎臟病と心臟病とを熱海桃山の自邸で靜養中であつた茂木惣兵衞氏は三日前より狹心病を併發、危篤を傳へられて居たが、遂に十六日午前一時半春子夫人に見護られつつ逝去した、享年四十三歲

尙右茂木惣兵衞氏は茂木商店沒落後米國に渡り數ケ年留學社會問題、勞働問題の研究に當り著書を出版し昭和八年歸朝、早稻田大學講師となり最近は英字の勞働新聞を發行する計畫を有してゐた

偶語

滿鐵の新京職業紹介所開設以來の宿泊者統計を見ると收容力百二十九名に對する投宿步合は八十%で決して惡い成績といふわけではないが▼しかし現在の新京の情勢からいつてまだ／＼といふわけで、これは一つには同所の趣旨が一般によく宣傳されてゐないためであらうとは直接その局に當つてゐる小野寺主任の話である▼その證據には宿泊者の中には未だに市內の私立紹介所などと同一に考へてゐる者が隨分多く、少からず迷惑してゐるとのことだ▼がしかし吾々の見る一般の認識不足は事實としても、その原因は地理的の關係によるところ多いのではないかと思はれる、近ごろ新發屯方面の發展は素晴らしいものあるには違ひないがだからといつて現在のところ附屬地を無視するわけにはゆかない▼大連の繁華街が連鎖街に奪はれそうで、その實浪速町の發展がちつとも阻害されてゐないに見ても判るやうに、そう／＼簡單に移りかはるわけではない▼百年の大計は必要だが、多數の民衆とかけ離れた施設は利用價値の少いことは余りに當然に過ぎる敢て簡易宿泊所を引合ひに出すわけではないが……

社説

ヨーロッパ不安の中に —ストレーザ會議の成果

不安なるヨーロッパがその安全組織を見出さうとしつゝ、しかもそれ自身が持つ矛盾のためにあへいでゐることは數日前論じた通りである、今次ストレーザに於いて行はれたフランス、イギリス、イタリー、この三國代表の會談もかゝる努力の一つの現はれとして理解さるべきである。そしてこれには戰後十八年を經ていま立ち上りつゝあるドイツの姿が大きな導因となつてゐることが注意される

◇

ストレーザ會議に於いてフランスが企圖した所が、イギリス並びにイタリーをドイツに對抗する目的のために自分の味方に緊密に引き入れやうとしたものであつたことは四圍の事情より見て極めて明らかであつた。所で、イギリスは專ら自國の經濟的利益を問題の根底に置くが故に、必ずしもフランスの誘導に容易に組するものではない。時にはむしろドイツに對して甚だ友好的な態度を取ることをも辭しないのである。イタリーは、その政治形態に於いて現下のドイツと大いに相似するものを持ちつゝ、やはり客觀的情勢の要求するところ、皮肉にもドイツを敵とせざるを得ない。しかも一層のアイロニイは、イタリーのストレーザに於ける豪語が單に口話の雄たるにとどまつて、實質的に今次の會談に多くを寄與するものではないといふ點にある。

◇

ストレーザ會議は兎も角、ドイツ最近の動向に對してフランスが國際聯盟理事會に提訴した要求に關して、三國意見の一致を見たといふことで一應の成功を收めたものであると言ふことが出來る。そして三國代表は東ヨーロッパの安全保障進展のため商議を續くべしとする見解を確認したといふ。更に、オーストリアの情勢を再檢討した結果、オーストリアの獨立維持、領土保全の必要を承認した一九三四年二月十七日及び九月二十七日のイギリス、フランス、イタリー宣言を確認したといふ以てその目標が興隆ドイツに向けられてゐるものであることを知り得るであらう。それとゝもに、今次の會議がかゝる三國の方向を「確認」するにとどまつたいはば一種の單御的心構へを示し合つたそれだけのものに過ぎなかつたことをわれらは知り得るのである。われらはドイツがこれに對して「ドイツ政府は歐洲に於ける軍事的同盟促進の機運中には集團的平和への發展の要素を見出すことが出來ないのみならず平和の保障をすらも見出さない」と聲明せることを指摘する不安は未だヨーロッパを去り得ないのである

歐洲諸國合作のナチス包圍外交陣

聯盟理事會開會を機に完成

【ジユネーヴ十四日發國通】聯盟理事會の開會を前にルーマニア外相チユチユレスコ氏は十四日午餐會を

開き 東歐諸國バルカン協約各國代表を招致、ソヴエート代表リトヴイノフ外務人民委員長も一枚加つて長時間に亙り重要協議を遂げたが、會議の中心議題は

一、理事會に對するフランス政府の提訴
一、ストレーザ會議の決定事項
一、ローマ中央ヨーロッパ會議

等と言はれるが、ドイツと直接間接に重大關係を有する各國代表が參集した丈けに理事會に於る作戰、ナチス獨乙の脅威排除等共通の利害關係ある歐洲國家の懸案に就き共同戰線を打合せたものと解される、右會議後リトヴイノフ氏はチエッコのベネシユ外相と長時間に亙り會談を遂げたが會談の內容は相互援助協約案だと言はれ、チエッコ政府が佛ソ兩國の軍事同盟案に參加する事は事實と觀られる、更にルーマニヤ、ユーゴースラヴイア等の小國政府も殆んど同樣の方針と解されるから、聯盟理事會開會を

機會 にナチス獨乙包圍の陣形は着々擴大强化される事とならうと言はれてゐる

日本の新支那政策（下）

上海「ノース、チャイナ デイリー、ニュース」所載

疑惑の利便

日本の民衆は、支那に關しては、外務省の追從者と陸軍の政策の謳歌者の殆んど眞二つに分れて居る、凡ての日本人が支那を疑つて居るわけではなく、一般の感情は、滿洲事變に於けると同樣に、疑惑の利便を與へるといふことである、若し支那が日本にスカを食はすならば、その時こそは多數の有識日本人が陸軍の乘出しを求めるであらう

日本人の還式對支政策は、その初期に於いては花々しかつたが、滿洲事變前に甚しき害厄たることを立證して居る政策を意味する、重要なる問題は日本と支那が明瞭に兩國に教訓たりし所のものを繰返すや否やといふことである

門戶開放の問題は全く別の問題である、本問題に關する日本の態度を確めることは極めて困難である、何故なら日本人でさへもその立場を知つてゐないからである、だがしかし勿論彼らに考へがない譯ではない

之等の思想の導くべき行程は外務省の代表者が屢々發表せる所の談話で想像されるだらう、本年一月十八日の談話に曰く

「日本の要求は門戶開放の原が全世界に實現せられんことである、何が故に支那の門戶開放だけを問題とするのであるか何故世界の各國にこれを擴大しないか？」

更に進んで、東京帝國大學の有名な經濟學教授蠟山政道氏は次の如く書いてゐる

「過去に於いて實踐せられたるが如き門戶開放政策は、極東殊に支那の運命を決定するにもはや役立たないだらう、かくの如き原則は廢棄すべきであり、而して全く改訂せる原則が代替すべきである、何となれば滿洲國獨立の結果、それは無力にされたからである」

更に二月四日外務當局の談は「日本と支那をして獨自の行動をなさしめてはいけないのか？」と言つてゐる、この言葉は、日本の現在の計畫を支那に於いて遂行すべき自由の立場を與へる一辯疏と解する方が甚だ適切であらう

この事がどういふことになるかは、全く讀者の判斷に委ねる外はない、外務當局及び其他の有力にして責任ある人々も、日本は支那に於ける門戶開放を遵守せんと欲する旨を繰返し言明して居る、然るに彼等がこの協定に不滿であることが明白である、問題は、「彼等のこれに關する方針如何？」である、しかもその回答は簡單でありさうも無い

帝政記念 全國綠化運動

綠化運動の趣旨

帝政記念全國綠化運動は昨年皇帝御登極の慶典を擧げさせらるるに當り此の事業の最も有意義なるべきことを思ひ企劃せられたものである、綠化運動と言へば單に國土の美化運動とのみ考へられ勝ちであるが我國に於けるこの運動は決して左樣な單純な考へから企圖せられたものではない故に政府の意圖を明かに掲げれば

第一 國土保安の目的
滿洲は最近に至るまで殆ど全土千古の美林に蔽はれて居つた、開拓の進むに伴ひ何れの國も辿りしが如く今日の如き荒廢の狀態を呈するに至つた
之れが復舊は王道樂土建設の第一要件であると共に各種產業の基礎的工作である

第二 治水目的
洪水の慘害は連年國民を塗炭の苦みに陷れつゝある、治水は滿洲該下の急務である、水害は其の因を山林の荒廢に因する、國土の綠化は治水の要諦である

第三 產業目的
一、水源の涵養は雨量拗き滿洲に於ける產業振興の基礎的工作である農業の集約化國土の利用の集約度を高める上から水源の涵養は農業立國の先決的條件である
二、水力資源の涵養
水力利用の各種產業特に水力發電の事業の爲めには森林造成を要する、熱河の慘憺たる沽溪は森林の造成によつて大なる水源資源を供給するに至るであらうことは其の一例である
三、野生の毛皮獸は滿洲の過去の一重要產物であつた、森林の荒廢に伴ふて著しく其の產額を減少し品質を低下した、將來綠化の滿洲森林には貴重毛皮獸が充滿して一大產業を構成せねばならぬ
四、森林資源の造成
綠化運動が森林資源の造成時に用薪材の造植にあることは言ふまでもない。隣國日本との有無相補ふはもとより國民は其の森林資源の沽渇により滿洲材の大なる顧客として待望すべきものがある
五、農家副業資源も亦森林に負ふ所は多い
滿洲森林は農家の副業の爲めに大なる貢獻を爲し得べきである
六、薪炭の缺乏は酷寒の國土に於ける國民の大なる悩みである、國土の綠化は此の缺を補はんとする
七、木材纖維を利用する各種工業は將來の滿洲に大なる期待を有する
八、畜產の振興も亦國土綠化に負ふ所が多い

第四 森林資源の保護
滿洲森林資源は極めて貧弱である、奧地美林地帶は槪ね經濟國外にあるも倂も火田の侵入其他による森林の資源の保護は該下の急務である、綠化運動は森林に對する關心を一般國民に普及せしめ森林保護の精神を喚起せんとする

第五 教化目的
國土の荒廢は人心を荒頽せしめる、國土の美化は國民精神の醇化に大なる貢獻を爲す、綠化運動は社會教化の一重要任務を負擔する

綠化運動の方法

第一 宣傳
ポスター、ビラ、パンフレット、映畫、講演等に依る
本年はポスター三種類二萬枚、繪葉書二十萬枚、パンフレット五萬を全國に配布し各地に於て講演を行ふ
一、植樹節擧行
四月穀雨の日を以て植樹節と定め全國的に式典を行ひ植樹の實行を爲す
二、植樹實行
本年はカラ松シベリヤハンの木の苗木四百萬本を購入し全國に配布す
三、學校苗圃の設定
文教部の斡旋により全國優良學校に苗圃を設け先づ學生生徒に養苗植樹の精神を喚起し青少年を通じて家庭へ、家庭より社會へ綠化運動の實行を誘導せんとす
四、尙將來に於ては壯年團、村、縣にも苗圃を設置せしめて村落綠化の實行に移らんとす
五、國家としての實行施設
早急に先づ各省に國營苗圃を設置し苗木の國內生產を實行し大々的に植樹の實行に移らんとす。此の實行は苗木養成に二ケ年を要すると諸制度の制定を要するを以てをそらくは康德五年度以降に實現せらるべきものと信ず

希望

右の如き目的と方法とに於て綠化運動は生れたるものにして眞に帝政記念事業として意義深きものなりと信ず、國民の擧つて此の擧に參加し其の實效を收められんことを希望す

尙實業部に於ては植樹方法の小冊子を配布し家庭庭園樹として國都建設局の協力を得て二、三本づつの樹木を各人に配布するを以て希望者は申出らるべく、植樹節當日は傘戶多少にかかはらず植樹を施行せられんことを望む

本年新京に於ける植樹節は南嶺綜合運動場附近に於て市公署、實業部、國都建設局共同にて擧行することとなつて居る當日は全市民參加を希望する

皇帝御訪日の御盛事に特派されて（四）

東京にて 金久保通雄

感激にみち溢れた御入京第一夜を明くれば七日、夜來の雨はあがつて朝風もさわやかに御滯京第二日を迎へた、この日赤坂離宮前は朝を衝いて奉拜の市民が續々と押し寄せる前夜の雨で全都の櫻は一時にパツと開いて皇帝陛下の御歡迎に一段と喜びをそへてゐる

皇帝陛下には滿洲國建設の偉き犧牲となつた皇軍將士に御感謝のため靖國神社に御參拜暫く御默禱あつて御敬虔な御敬禮を遊ばされた、その御眞情は地下に眠る英靈に通じいよいよ新國家の國礎を永劫に固く護り奉ることゝ拜せられる

◇

夜ともなれば「人と光」で喜色滿都を埋めつくしてしまつた、この日の人出實に百五十萬！盛り場といふ盛り場はこの人波で身動きも出來ない、銀座八丁一往復が二時間もかゝらうといふもの、第一日曜のことゝて大東京のすべての階級の人々が街へ流れ出したのだ、淺草といはず新宿といはず、上野、神田いづれも日滿國旗と五色旗を彩つたほづき提灯の氾濫である、滿洲色を濃く盛つた花電車があちにもこつちにも華やかな姿を現してゐる午後九時半ごろ赤坂離宮前に十台の花電車が現れた頃には御旅館の前は數萬の群集が皇帝陛下の御姿を拜さんと集つてゐた折しも御旅館二階正面の露台にチラホラと提灯の灯がみえた—皇帝陛下の御出ましだ—記者は昨年六月秩父宮殿下が大使官邸（今の谷參事官邸）のバルコニーから日滿兒童の提灯行列を御覽遊ばされた感激の光景が偲ばれた、花電車は群集の眞中に止まつた、皇帝陛下には何事か扈從員と御語り遊ばされてゐる御樣子であつた、暗の中にくつきりと浮んだ花電車が再び一台二台と赤坂見付の方へ去つて行つた御名殘り惜し氣に御見送り遊ばされる皇帝陛下にはいとも御感慨深い御模樣に拜された一刻千金の春宵ではあつた前夜にまして美しい御滯京第二夜であつた（續く）

吉田軍務局長 十五日渡滿の途に

【東京國通】海軍省吉田軍務局長は滿洲國視察のため十五日午後三時東京驛發渡滿の途に上つた

滿鐵新入社員 中卒生三百名來連

【大連國通】昭和十年度滿鐵新入社員は此處數日に亙り續々來連したが、十五日入港のうらる丸では中等學校卒業生三百三十五名何れも元氣潑剌と來連、新生活戰線への意氣込みも勇ましく滿鐵人事課員に迎へられ宿舍に向つた

蒙古通玉井畫伯來京

民族藝術の研究を志し生命を賭し蒙古に在る事前後十一年而して彩管の技は故小堀鞆音畫伯を師として入神の技を持つ玉井莊雲畫伯は十三日新京に到着した、畫伯の蒙古事情通なるは、昭和七年十二月參謀本部に於て秩父宮殿下、閑院參謀總長宮其他將星を前にして前後五時間半の蒙古實情を講演したによつても知る事が出來る、その時畫伯は得意の蒙古風俗を畫いて御說明申上げたのであつた、次で當時の陸軍大臣荒木貞夫大將は畏き邊りに獻上し奉る可き滿洲國百景の畫帖の謹作を囑したのであつた、尙畫伯は蒙古事情の研究に著書數種あり就中「內外蒙古の横顏」は蒙古研究者の指針となつてゐる畫伯は當分新京に滯在各方面の揮毫にも應ずると

商況欄（四月十六日後場）

金銀市況

●上海標金 前引 八〇八、〇〇 寄 八一〇、三〇 八三三、〇〇
●大連金鈔票 現物 寄付 一三三、四〇 引 一三三、三五
四月廿八日限 寄付 一三三、五〇 引 出來高 二〇萬
五月十三日限 寄付 乘 引 替 不 申
●大連鈔票銀大洋 現物 一三一、一〇 一三三、〇〇 出來高 二三萬
●奉天國幣對金票 現物 一一〇、五〇 一一〇、〇〇
四月廿八日限 寄付 九〇、〇〇 引 九〇、〇〇 出來高 九〇萬

爲替相場

▲上海爲替 ▲日本向 第一回 賣 一三九、五〇〇 買 一四〇、〇〇〇 第二回 賣 一三九、二五〇 買 一三九、七五〇 第三回 賣 一三九、〇〇〇 買 一三九、五〇〇
▲倫敦向 第一回 賣 一志七片 一六分三 買 八分七 第二回 賣 一志七片 一六分二 買 四分三
▲紐育向 第一回 賣 四〇弗 一六分一 買 一六分三 第二回 賣 三九弗 四分三 買 一六分三 第三回 賣 買
▲大連爲替 ▲上海向 一〇二七七五 一〇二七〇〇 一〇二六五〇
▲國合向 一〇二六〇〇
▲阪神日米爲替
▲阪神日英爲替 第一回 賣 買 第一回 賣 買

株式相場

▲大連株式（短期） 寄 引
五品新 豆新 鈔新 東新 日產 鐘新 滿鐵 二新 [illegible]
▲奉天株式（短期） 寄 引
滿取 東新 鐘新 日產 大新 五品 豆新 電甲 同乙 滿鐵 二新 東拓 東亞 日魯 滿興 滿毛 優先 [illegible]

特產市況

●大連大豆 袋込 四月限 五月限 六月限 七月限 八月限 [illegible]
●同 豆粕 現物 四月限 五月限 六月限 七月限 八月限 九月限 [illegible]
●同 豆油 現物 五月限 六月限 七月限 八月限 九月限 出來不申
●同 高粱 現物 四月限 五月限 六月限 七月限 八月限 九月限 [illegible]
▲哈爾濱大豆 五月限 六月限 七月限 [illegible]
●同 小麥 五月限 六月限 七月限 [illegible]

新京取引所市況（四月十六日後場）

●大豆 現物（一石値段） 定期（混合百斤値段） 寄 引 出來高
現物 四月限 五月限 [illegible]

●高粱 現物 四月限 五月限 六月限 七月限 八月限 [illegible]
●鈔票對金票 二十八日限 寄 引 出來高 十三日限 [illegible]
●國幣對鈔票 二十八日限 寄 引 出來高 十三日限 [illegible]

手形交換（十六日） 金票 鈔票 國幣 [illegible]

南満

奉天、安東兩省の復興案の再審議

各縣の割當額決る

[illegible]三萬圓事務費)の各縣割當ても終つたので十六日午後一時より省公署に奉天省委員會を開催、再審議をなし兩省聯合委員會の決議を經て愈々實行に着手することゝなつたが、集團部落建設費各縣起債額及び警備道路費各縣割當額左の如し、尙警備道路の修築は七百粁で奉天省は二千キロである

部落建設費(各縣起債額警備道路費の順)

興京　九、五〇〇圓、二、
柳河　六〇、〇〇〇圓、二
輝南　四、〇〇〇圓、二
金川　二〇、〇〇〇圓、二
東豐　一〇、〇〇〇圓、一
清原　六、〇〇〇圓、一
　　　一五、〇〇〇圓、二
海龍　無し　一、〇〇〇圓
濛江　二四、〇〇〇圓
西安　無し　一〇、〇〇〇圓
　　　無し　一八、〇〇〇圓

[illegible]部警察官中より選出された成績優秀なる者百名が出席する

蔣介石に利用された東北軍の改組案

笑止！ヤブ蛇の醜態

學良取りけしを要求

【奉天國通】舊東北軍中の王以哲、何柱國兩氏は、蔣介石氏に買收せられ、張學良氏より離反しつゝある形跡濃厚となつたので學良氏は之が對策として先般蔣氏に對し舊東北軍の改組を要求せるところ、蔣氏は右要求を利用して武漢の地に改組辦事處を設置し處長には蔣氏の腹臣陳誠氏を任命

却つて學良氏の勢力を壓する結果となり學良氏としてはヤブ蛇の形である、而して舊東北軍各將領は右は東北軍の自滅招來するものとして學良氏に進言せる結果學良氏も目下貴州にある蔣氏の歸還を待つて新たに交渉すべく陳誠氏に對しては前計畫案の取消を通告した

于學忠　河北に未練

【奉天國通】河北省政府は既報の如く近く保定に移轉し于學忠軍は同地に移駐する事に決定したが、于學忠氏は年額約六百萬元程度の收入ある河北に未練をもち保定移駐後も天津の實收を保持すべく部隊の一部を天津に殘留せしめんと計畫中で學良も之に贊同目下蔣氏に對し運動中である事になつてゐる

延吉料理店移轉問題

相當紛糾か

【延吉發】間島省延吉市では昭和九年六月二十二日領事分館警察署の指令を以て市内々鮮人料理屋營業者内地人五、鮮人四に對し營業取締上の關係より之等全部の一齊移轉を市内第四區丁字街以南西大街以西の地點に指定し移轉期間を本年十二月末限りと定めて否應なく之が實現を急がしてゐるが以上の移轉問題に關しては滿洲國側官邊に於て目下成案を急ぎつゝある都市計畫上にも充分考慮の餘地を有する點もあり、一方又當業者間にも該移轉に依る經濟上の關係等もあり之が實現を見るは相當に困難なる模樣で或は相當問題化せんとし之が成行は一般から頗る重視されてゐる

名犬トム　實演公開

【敦化支局發】愛の教化によつて現はれた國達犬『トム』の教化能力を一般に公開するため、敦化日滿教育聯和會及敦化小學校主催となり十五日午後一時から北門外小學校に於て『トム』の實演をこゝろみ好評をはくした、なほ『トム』一行の帝國通俗教育協會は吉林、新京及各地でも公演する筈である

敦化小學生の美擧

戰歿勇士の母に慰問文

【敦化支局發】去る二日雙牙子(南黃泥河)に於て戰死した敦化守備隊故陸軍步兵軍曹長谷川勇一君の實家では老いたる母がさびしいうちにも勇一君の悲しい凱旋の日をまちわびてゐる、東北の饑きんによつてその日の生活にもこまる勇一君の鄕土では隣人愛の同情に心をはげましてゐる勇一君の母は今二人目の愛兒を失つた(昨年末長男を失ふ)悲しみに身も心もわがものであるまい、この慘狀を傳へ聞いた在敦化日本人小學校では勇一君の實家に學童の手になつた慰問文を送達することになり十二日手續を了したが、學童の純眞なまごゝろもて書き綴られた感謝と輝く皇軍の勳との慰問文には胸をうつものがあり守備隊でもいたく感激してゐる

東満

河童連喜べ！

電業吉林支店の肝煎りで標準プール出現

【吉林發】近代的文化都市吉林の夏はS字形に流れる松花江に依つて一層の興趣をそえて居るが然し此の松花江は流れが早い爲水泳に適せず夏の陽の下に躍る河童連を勘から ず失望させて居たところ今度大滿電燈敞の積弊を一掃して大衆との握手に努めつゝある吉林電業支店が一肌脫ぐ事となり同構内營業事務所裏の發電所冷却池をプールに改造して一般に解放せんとして居る、即ち現在同冷却池は幅十五米突、長さ四十二米突中、深さ二

るべく體育協會はじめ一般スイーマーは華やかな今夏の夢を抱いて相當に期待してゐる、而して同プールの計畫としては幅は現在の儘で長さを五十米突に延ばし深さは最深部を三米突に最淺部を一米突位にし兒童達の便宜を計る事となり今夏迄には是非實現せんものと準備を急いで居る

吉林協和會　孫局長辭任

【吉林國通】協和會吉林地方事務局長孫補沈氏は昨年來警[illegible]

新京圖們航空路

圖們方面の利用客漸增

【圖門國通】滿洲航空會社圖們出張所取扱の一月以降三月末日までの新京方面への飛行機利用の一般旅客數は左の如し

一月　新京五　敦化五　龍井十六
二月　新京六　吉林一　龍井十
三月　新京四　敦化三　吉林一　龍井廿一

て邁進することゝなつた

圖寧線引繼を前に

總局幹部沿線視察

【圖們國通】圖寧線引繼期を前にして鐵路總局幹部約五十名は圖寧線の引繼檢査の爲め現場下打合せ並に濱綏線々路巡視の爲め奉天より臨時列車にて十五日午前十一時六分着列車にて來圖、車中一泊後十六日午前六時四十分圖寧線路巡視に向つた

北満

安住の地目ざし

窮乏六萬余の蒙古人

ウエイトン河流城に農業移住

期待されるその成果

【ハイラル發】六萬人餘の蒙古人殆どが生計に追はれて窮乏を訴へてゐる興安東省管下チチハル以北西の訥河德都附近の住民に對し、東省當局では良案もがなと豫て講究中のところ、地域の割に住民少き興安北省へ移住を案出し、これを北省當局へ交渉した所、

北省でも同じタフリ族の窮乏見るに忍びずとして、この程移住を快諾せる爲取り敢ず十九家族五十餘名が先發隊となつて來呼する事となつた、これを迎へる呼倫貝爾では大體同族のソロン族が現在七千人の程僅少なる族とてソロン族下のウエイトン河流域を限つて開放し、及ぶ限り迎へて農業方面を奬勵して土着せしめる事となつたが、海拉爾より凡そ二十四五里のウエイトン河附近にやがて蒙古人に依る農作の行はれる事は北省としては全く始めての事で蒙政部が意圖する農業土着民族化の一歩として期待されてゐる、

濱江省淸鄕警察隊

廿日頃から出動

今度移住する殆とは大半農業經驗者ばかりであると

【ハルビン國通】既報の如く濱江省二十七縣下日滿警察三國人警察官百五十名に依つて組織された濱江省淸鄕警察隊は十六日午後七時高等警察學校で宣誓式を行ひ隊長淺見淸一氏指揮の下に二十日頃より全員州動ハルビンを中心に各近縣に出動し匪團の掃蕩を行ふ事となつたが、滿洲國警察隊の新選組とも謂ふべき同隊の活躍は匪賊の蠢動期を控へて頗る期待されてゐる

八田副總裁

一行着哈

【ハルビン國通】接收後の北滿廣軌線視察のため大村交通監督部長、八田滿鐵副總裁、筒井大使館情報課長一行は、森島總領事、佐原ハルビン鐵路局長以下關係者多數の出迎へを受けて十六日午後二時五十分着列車で來哈した
一行は十七日午前七時十分發濱綏線でポグラに行き、一泊の後廿一日ハルビンに還り、廿二日佐原局長帶同、濱綏線視察の途に上る豫定である

接收後の北鐵

一部米突制採用

【哈爾濱發】接收前の北鐵は諸外國の鐵道がメートル法を採用してゐるに拘らず依然としてロシア獨特のプードを用ひてゐたので哈爾濱を始め廣軌線沿線では一般に之に倣ひ哈爾濱取引所も今尙プードを採用してゐるが、接收後哈爾濱鐵路局では一部改正して連絡貨物にはメートル法を採用し三十瓩一車制を用ひ地方輸送には從來通り四プード(十六噸半)一車制とした又航業聯合局でも從來布度建であつたものを本年から瓩法の運賃を用ひることゝなり漸次米突法に接近しつゝある、右に關し哈爾濱取引所では語る

當取引所で布度を單位にしてゐるのは罵北鐵並に一般商民が之を採用してゐるので便宜上踏襲したものだが今直ちに改める譯には行かぬ、それは鐵道に於てもまだ完全にメートル法を用ひてゐないし一般にもまだ布度が採用されてゐる、鐵道は從來の布度秤ではかつて之を換算してゐるやうだが當方はさう旨ふ譯には行かぬ、勿論鐵道が共殺的にメートル法を採用することゝなれば當方とて之に倣ふことは勿論だ

秘密結社

滿洲在家裡(ツァイチアリー)

＝その歷史と最近の動勢＝

[illegible]

在家裡はその歷史的起[illegible]するため歷々同一[illegible]ふされてゐる、靑の揚子江流域と北[illegible]連絡する大運河に運搬者のギルドに[illegible]のであつた、現在[illegible]裡の一分派と稱さ[illegible]そして山東地方か[illegible]けて大なる勢力を[illegible]のである[illegible]と稱似たものに在[illegible]これは禁酒禁煙[illegible]修養と會員の相互[illegible]とする宗敎的修養[illegible]尤も今日在家裡[illegible]社としての權利を[illegible]在理敎に合流せん[illegible]があり、注意すべ

在家裡の歷史的起原は正史に明らかでなく一種の神話を中心的基調としてその歷史的發展が展開されてゐる、滿洲在家裡の首領第二十一代馮緒氏の言に從へば、淸朝の康熙帝は國家統治に資するため首領となつて南方を平定され、康熙帝こそは在家裡の始祖であると。然るに在家裡の傳說を克明に錄した道義大經に從へば次の如くである
在家裡は靑幫と同じく羅祖に源を發し、潘、錢、翁の三老に依つて結社的形態を與へられたものである、在家裡は潘老祖に至つて一個の幫として社會的活動を開始したものであるが、時代の推移とともに

在家裡内部にも白蓮會、金家會、臨津會等の諸分派が併立して、これらの諸結社を總稱して在家裡と稱したのである
淸朝、康熙年間回々敎徒反亂を鎭した際福建省小林寺の僧兵が賊軍を鎭定した、その後奸臣の讒言により小林寺が燒き拂はれた、この時辛うじて逃亡した五人の僧が覆淸興明の族の下に哥老會を結成した哥老會の旗上げ利あらず、更に逃れた五僧の一人羅祖により、安淸會が組織された、時に大運河航行の安全を期して同業組合組織されその首領たりしものが潘、錢、翁の三人であつた、以上が羅祖を中心とする歷史的傳說である

新京高女、商業學校 内地旅行だより

新京高女(十) 内地旅行便り

奈良―二見浦 四月二日

四月二日午前七時半朝の冷々とした空氣に觸れ乍ら、私達は畝傍山に向つて歩を運んだ

大軌畝傍線の電車は、旅の疲れの爲にうと／＼してゐる私達を乘せて、まつしぐらに急行します

暫らく電車に揺られて私達は橿原神宮に到着致しました

閑靜な中にも嚴かな氣分の漲つて居る神宮の境内に一歩足を踏入れると、身体が引きしまる樣な感を受けました

本日は明日の神武天皇祭を控へて、參詣の人も常日頃よりや〻多いと云ふ事であります

毎年四月三日には此處に十五六萬の人々が御參りに來る相です

境内には枝振りの美しい古色蒼然とした常緑色の松が幾千となく、高く／＼聳え立つて居り其の崇嚴さは筆舌に盡す事が出來ません

次に神武天皇の御陵に參詣し長閑かな田舍道を停留場目指して歩いて行きますと、田舍の小學生が質素な木綿の着物を着て、袴をはいたりはかなんだり或は前掛をだらりとしめて居たり、其の質朴な樣子健康美に輝く林檎の樣なつや／＼した頰、私達の眼には唯々珍しく不思議に映りました

歸りの電車内では皆すつかり疲が出て、こつくり／＼御船を漕いで居ります、宿に着いて御辨當を持ち私達の憧れの鹿の名所春日神社へと歩を進めました、五重塔を初め色々な建物の姿を映し、美しいしだれ柳がしよんぼりとうなだれて居る、猿澤の池の畔りを歩いて參りますと、人なつこい鹿が私達の與へる御せんべいの前に頭を下げ／＼集つて來ます、其の樣子はとてもても可愛らしくて、すつかり旅の疲れも忘れて打興じました

此の奈良では毎年十月鹿の角狩りをするのだ相ですが、道理で集つて來る澤山の鹿は何れも角が少しゝか生えて居らずあの美しい角を見る事が出來ませんでした

晝食後月の名所として知られて居る三笠山に着きあの「三笠の山に出でし月かも」と詠まれた和歌の一節を思浮べて昔を偲びました

次いで春日神官の本堂に御參りし、東大寺にかゝりますと天平建築の粹を集めたものとして國寶となつた三月堂、それに續いて二月堂等の古色に包まれる樣な氣分がしました

何となくしんみりした氣持に近くで何となく不氣味な鐘の音が聞えます、次第に間近くなるにつれて、大鐘樓の前に澤山の人が集つてゐるのがはつきりと知られます、そこは一回五錢でつかせてゐるので一度ついて見たいとは思ひましたがそのまゝ通過して、天下の名物奈良の大佛樣の安置してある東大寺の金堂、大佛殿に到着しました

此は元祿年間の再建になるもので、一番最初の時の三分の二に過ぎないのだ相ですが、それでも高さ十五丈六尺、側面十六丈六尺で現時世界に於ける木造建築中の最大のものです、中に安置されてある大佛樣の偉大なのにすつかりびつくりしてしまつた私達は、唯「大きいねー」を連發して居ります、中指の長さ丈でも凡そ私達の背丈程もあるのですから、全体の大きさは想像して余りあるのです

數百年も前にこの樣な建物を出した昔の人の業をつく／＼感心しました

午後二時、盡きせぬ名殘りを惜しみつゝ一同春日野を經て疲れた足を引ずりつゝ驛に辿り着きました

それから二見行の列車に乘入み、漸くたそがれの色のたちこめた七時少し前に二見ヶ浦に着きました

淋しく靜かなこの町では新しく、然も壯大な朝日館に到着舞台付き百三十余疊の廣間に通されこんどはスッカリ喜びました御風呂で、一日の疲れを洗ひ落し一同十時頃安らかに眠につきました、(佐藤道子)

伊勢―名古屋 四月三日

昨日の疲れでぐつすり寢込んでゐた所、五時半女中さんの聲に眼を醒し眠いの寒いと云ひ乍らそれでも寢ぼけ顔して寢巻の上にオーバーをひつかけてテクテク旅館裏のきれいな海岸に出る、繪端書そのまゝの美しい日の出だ、神々しい朝日の光に自然と合掌したい樣な氣持が起つて來る、あちらこちらから感歎の聲がもれる、日は伊勢灣の水を金色に染めつゝだん／＼水平線を離れて夫婦岩を見下すが如く見えた、私共一同は名殘惜しげに日の出の海をふり返りふり返り宿に歸つた、も一度フトンの中に這入らうと勇み立つて歸つたのにまあ殘念床はすでに上げられてあつた

小さな町淋しい靜かな二見が浦、それから御殿の樣な立派な旅館朝日館にさよならをして午前九時内宮前に電車を下りる黒々とした深い木立はすぐ靈域を直覺させる、これから天照大神を祀れる皇大神宮に參詣するのだと思ふと急に引しまつた心持になる、先づ神橋宇治橋を渡り彼の有名な五十鈴川に下る、淸冽そのものゝ樣な水だ漁網を知らぬ大小の川魚は私達の騷ぎに驚く樣子もなく靜かに動いて行く私達はこの水で手を淸め再び四列縱隊となつて玉ジャリをザクザク踏みならし乍ら參道を奥へ奥へと進んだ

天を摩するばかりの老松鬱蒼として西行法師ならずとも有難い涙こぼるゝ樣な神秘的な感じである

やがて神宮御本殿の前に達す

白木造りへ神殿の御前に整列

壯嚴な神氣に打たれて皆思はず頭を垂れる、最敬禮の合圖によりうやうやしく額づいた

貧富貴賤老若男女の別なく次から次へと參拜して行かれる同胞の誠意のこもつた樣子は誠に涙なしに見られぬ美しい情景である、宇治橋のたもとにて橋をバックに紀念撮影して私達は又電車の中の人となつた、暫くして豐受大神をおまつりしてある外宮につく、こゝでは膝まづいて拍手を打ち内宮同樣祈りをして參拜した、外宮の鷄は奈良に於ける鹿の樣によく人になれてゐる眞白い体に赤いトサカの垂れてゐるニハトリ迄も神々しく見えた、參拜終り十一時八分發の名古屋行の汽車に乘つた

今日は四月三日神武祭の事とて參拜者多數の爲であらう汽車の中は非常な混雜である龜山でたくさんの人が下車したため私はやうやく坐席にありつく事が出來た桑名、四日市津と伊勢灣の都會を車室より見學して午後二時四十分お城名物の名古屋につく平凡な感じのする町を電車でお城前に行きお濠にそふて御門前まで徒歩金の　で名高い名古屋城を見た、大阪城と同じと云ふので天守閣上りはせず近くより見學するに止めた

名にしおふ金の　は金網の中に苦しさう聞けば昔　に乘つて鯱を一板取つた者があつたとかそれから金あみが張られたのだとの事である、再び電車で熱田に向ふ沿道の街々は美しく飾られ歩道は學生や一般人が並んでさわがしい、私達が新京からはるばるやつて來たのであんなに歡迎して呉れてゐるのでせうなどと云つて笑つてゐると、近くにゐた車掌さん「あれは熱河討伐に行つた若山部隊の凱旋です」よ、皆は「マアー」と再び大笑ひ、ころした笑の中に、早や熱田についた、草薙の劍を祀れる熱田神宮、うやうやしく禮拜して例の通りスタンプを　していただき、一寸休憩して再び名古屋へ、夕食の後二時間自由見學が許され多くは名古屋の銀座とも云はれる廣小路を散歩見學買物聞きしに違はず物價は非常にやすい驛前の旅館で一休みして午後九時四十分長野行の汽車にのり入んだ(田中美智子、鎌山すみえ)

旅行便り(七) 新京商業學校

伊勢から ＝第七信＝

山田の一夜はおそくまで「あんま」の笛の音に悩まされて寢に着く事が出來なかつたがそれも何時しか夢の間に間に明くれば四月八日花曇に曇つては居たが充分の睡眠に滿足した私達に心良い朝が訪れて來た

廊下に出て道行く人を見れば總て團体の參詣人だ、國旗が右往左往して居る斯くも參詣人が多いとは思つて居らなかつたので今更の如く一驚する

朝食後直ちに行動を開始する

古來神宮に參拜する事を、伊勢參宮と云つて國民一般がこの「お伊勢參り」を一生一度の念願となして居る、私達は今その參道を歩いて居るのだ

旅行に出發する數日前戒田先生の色々の旅行に關する御注意の中に

『とかく滿洲に來て居る邦人は國家觀念がうすらいで日本人でありながらたま／＼日本人らしからぬ行爲を見受ける櫻の花も内地から滿洲に移植すればあんずの花となる、君達は此度の旅行の際に皇大神宮に參詣したならば『眞の日本人になつて歸つて來い』と云ふ御言葉があつたが、私今再びその御言葉を胸の中でくりかへして見ました

外宮を最初に參拜したすく／＼と伸びた老杉の木立ちの間を通りぬける時の私達の氣持自然と云ふ物から一種の威壓を受ける中にも一種のすが／＼しい氣持になつて來ました

外宮は豐受大神宮をお祀り致して國民生活の最要素たる百穀發生、後世產業の基を開き給ひし御祖神で、天照大神の御敬慕最も深く「吾れを祀る前に先づ豐受大神を祀れ」と特に御神勅を下された其の御神慮に依つて雄略天皇の大御代に丹波の國より現在の大宮地に遷へ御祀り遊ばされた豐き御神樣であらせられる、外宮より電車に乘つて内宮へ、私達一行は五十鈴の流れを宇治橋に依つて渡りしばしの後には五十鈴川のほとりにて口をそゝいだのでした眞鯉ヒ鯉の遊泳するのを眺めた後愈々古木の參道を神殿に向ひました、内宮は天照大神を我が皇室及び國民の總御祖先としてお祀りしてあるところで白木造の御社も神々して、私達の心を目に見へない或何物かを力強くうつのでした、宮殿の御構造神明造りと申して總檜白木造りで兩大宮はほゞ同一であるがたゞ異なる點は御屋根上部兩端の木の先端が内宮は平たく、外宮は垂直に削取つてあり又勝男木が内宮は正殿十本御門六本別宮六本であるが外宮は正殿が九本御門五本別宮五本となつて居るのである、兩宮及び總ての別宮は滿二十年毎に全部新らしく御造り替へ相成る御制度だと伺ひました、斯くて内地旅行中の最大目的である皇大神宮の參詣を終へて宇治橋を背景に櫻花滿開の下で記念撮影をしました、晝食後暫時の後二見ヶ浦へ、寫眞や繪で見て居た二見ヶ浦は現實に見ると案外つまらないものでこれが現滅の悲哀とでも云ふのでせう

今日一日の參詣で何を得たでせうか、近時非常時日本とか又は新興日本とか色々の言葉で日本と云ふものを見直して居る樣ですが、目下の急務は國際間の親交も大切な事ではあるが東西文化の合流點とも見るべき日本に於て、現在精神文化と物質文化がものすごい火花をちらして戰つて居る混沌として居る、併しこの戰ひは國民の力によつて融和させなければならないと思ふ、その時に當つて思想界教育界はとかくに兩立してぐらついて居る、これでは我々第二の國民は不安である併し今日皇大神宮で眞の日本と云ふ姿を見た樣な氣がする老若男女を問はず絶へ間のない參詣人、この人達によつて大きな力強い精神文化のブロックが出來て外來の物質文化と合流して新興日本となるのではないかと杉の木立のあいだから神鷄が元氣よく若々しく時をつくつて來るその樣に、私達は眞の日本人に還元出來た喜びの胸をいだひて午後七時十分山田發一路夢のあけくれにゐがいて居る皇帝ゐます東京へ向ふ(坂井生)

東京から ＝第八信＝

愈々東京着、最大の憧憬地、畏くも　天皇陛下御在します我等が帝都の地、東京!!何と我等に耳に強く響く言葉だらう幼き頃より都東京の名を聞き知らぬ者はあるまい、全國民の總本家上御一人の御在しますすべての中心地だもの、我等滿洲に成長すると雖も日本人の赤い血が大和魂と共に流れてゐるのだもの、寫眞等にて僅に知る宮城始め諸々名所の俤は眼前にちらつく、我等が下車地たる新橋驛に間もなくだ、車中は騷然として來る全員期待の眼を輝かし感激に燃へてゐるのだ、氣のせいか車窓より眼底に寫るすべてが帝都の感となり頭に胸に食ひ込む、驛着下車僅かにして宿につく、丁度滿洲國皇帝御訪日最中で觀兵式の當日なので市内中歡迎氣分が横溢してゐる一國元首の他國訪問、お揃で觀兵式古今未曾有の盛儀である、我歷史の一頁を飾る盛儀だ、が併し殘念至極なれ共拜觀の榮を得る事が出來なかつた、今後から機會に再び逢ふ事は絶對にあるまい惜しい事をした、空前絶後の豪華版を東京に來てゐながら逃したのだ

今日第一日は日程の都合に依り自由解散だ各人親類友達同志と三々伍々嬉しげに出掛けて行く、如何なる感を持つて歸つて來るやら東京と雖も…夕方皆宿へ歸つて來る、感想如何東京第一感如何、果して期待の如き滿足を得て來ただらうか否反する者不少、過大な期待も不可(西川元彦)

早川雪洲一座 壓倒的好評を博す

本社後援早川雪洲一座の初日公演は十六日午後六時より記念公會堂において華々しく蓋を開けた、開幕前會場は立錐の餘地なきまでに詰めかけた好劇ファンに埋り、異常なる盛況を現出、素晴しい舞台裝置と、統制ある演出の良さと貫錄ある熱の演技に、觀衆を完全に魅了し去つた、毎夜六時から、明日限り(前賣券一圓八十錢、會場扱二圓、學生軍人一圓五十錢、小人五十錢)―寫眞は「第七天國」の雪洲と三田照子―

プログラム

- オステン、ストロング原作、早川雪洲御色並に演出　第七天國(二幕)　舞台裝置　井上弘範
- 中野實原作　高峰明演出　女優と詩人(一幕)　舞台裝置　田中良知
- ダウイット、ベラスコ、アクメツト、アブダラ原作、早川雪洲御色並に演出　天晴れウオング(三幕)　舞台裝置　田中良知

今日の銀幕街

▼長春座―岡田嘉子の「生さぬ仲」長二郎の「菊五郎格子」前後篇・其他

▼新京キネマ―東家樂燕口演の浪曲トーキー「召集令」市川正二郎の「武士道うらおもて」

▼帝都キネマ―ドロレス、デルリオの「ワンダバー」阪妻の「雲切り閻魔帖」桂珠子の「七寶の柱」

▲龍春電影院―胡姍女士「王芳芳

新刊紹介

◇幼年倶樂部　五月號

◇卷頭の大勇士繪ものがたりのすぐ後に「慰問袋」の寫眞物語があり、その末尾に駐滿兵士への慰問を奬勵したのはよいことだつた、寫眞の魅力を利用したものではこれなど上乘の題材といへるであらう

◇同じ作家德永すみ子氏は、やはりこの雜誌に童話「しつけい」を發表してゐるがどちらかといへば作品としてはこの方が優れてゐる、またこの種の童話を多く載せるほど兒童雜誌は品位を高める、幼年倶樂部最近の傾向が、この方にも向いてゐるのは結構だ

◇特別讀物「見えない飛行機」につゞいて、上司小劍の「黒い馬と黒い騎手」大倉桃郎のうすのろ小僧」が光つて見えた殊に「うすのろ小僧」は大倉喜八郎の少年時代の逸話であるが、それを巧みに童話化した腕は流石である

◇其他のところでは「うかれ子馬」加藤武雄「八重と鷹丸」宇野浩二「仁王山大五郎」坂東太郎「一二三四五六」ミヤオシゲヲ「ボラ先生」久米元一「上泉大助」大河内翠山等々、相變らずの盛澤山である

◇附錄に「楠木正行の額」がある、如意輪堂の組立もの、端午の五月に因み、楠公六百年祭にもゆかりをもつて結構な附錄である

家庭を暗くする 婦人病は何うすれば宜いか 心得べき治療法

麗かな陽春の光を浴びて大地はなごやかに微笑む頃、嚴寒を潜り拔けた草も木も一齊に芽を吹き花を咲かせる所謂木の芽時が參りました。

この溫暖な得も云はれぬ氣候の影響で人體の凡ゆる氣能も、旺盛になつて參りますが、潛伏性又は慢性の婦人諸疾患が、急激な活動を起し進行性に變化するのも同じくこの木の芽時ですから、深甚の注意を拂つて頂きたいと思ひます。

木の芽時から梅雨期にかけて、大抵の御婦人方が訴へる全身の變調、譬へば頭痛や眩暈や倦怠感などは、潜んでゐた婦人病が再び活動を始めた合圖の烽火と思へば間違ひはありません。

斯ういふ時期に素早く病氣の出鼻を挫いておきませんと、病勢が段々惡化して取返しのつかぬ大事を惹起します。月經の不順、下腹疼痛、厄介なヒステリー亢進を始め木の芽時は恐るべき病の出時でもあります。其の反面又絶好の治期でもありますからこの期を外さず一氣に徹底的病因掃蕩療法を始める事が絶對必要です。その中でも病因掃蕩の代表療法と評判される「中將湯」を服用する事が特に必要であります。

何故中將湯が良く効くか

中將湯は和漢藥の代表にして誇るべき相乘作用を有し且いまはしき副作用がありません。今日醫藥上最も重要な地位を占めてゐるモルヒネ、コデイン、その他アルカロイド藥品は罌粟から、又コカインは古加樹の葉からとつたものであり、又最近醫療界を風靡する新藥新製劑は多く和漢藥からスタートして之をモダーン化したものであります。左樣に各藥用植物の主成分中には驚くべき特徴を持つたものがあつて之を適所に合理的配劑を行へば如何に良く効くか疑問の餘地はないのであります。然し此の和漢藥も原料及製法の相違が「藥効」に及ぼす影響は素人の想像以上です、故に中將湯は擴大なる津村研究所並に藥用植物園を設けて藥の凡ゆる方面から研究して、原料を精選、また選別機、切斷機、眞空乾燥機自動電壜機、其他最新式機械を應用して最も良く効くやう藥質第一主義のもとに衞生的に製劑して居ります。

安心して治療

中將湯は斯くの如く研究努力の結晶として生れた和漢藥の權威でありまして絶對に副作用なく、その有効率は例へば藥が相互に作用して(3+3=6)でなく(3×3=9)の如き相乘積にも等しき良き効果を齎らします。

主効は逆上頭痛、めまひ、腰足冷込、月經不順、下腹疼痛、ヒステリー、神經衰弱、子宮病、こしけ、肩凝眼暈、産前産後、浮腫惡阻等で婦人の缺くべからざる護身藥であります。全國各藥店にあります

10―4D

學藝欄

◇五月上旬新京で催される滿洲二科展に石井柏亭氏と共に來滿する二科の中堅松本弘二畫伯は本社のため特に左の稿を寄せられた、同畫伯は滯佛中サロンドオトンヌに於て引續き「郊外の一角」「丘の上」「ル、バザー」等入選、ル、マタン、プチパリジャン、バリソア紙及び雜誌クラツプイヨウ等に好評を得、歸朝後は二科會特別陳列の選に入り我が畫壇に清新なる空氣を送つてゐる◇

美術鑑賞の眼目

松本弘二

東京朝日新聞だつたと思ふが一木宮相が新任された時に、新聞社側の質問であつたのだらう、自分は美術の非常な愛好者であるが、普通の素人は繪を觀ると直ぐ免角のことを言ふが、美術作品の鑑賞はなか〳〵六ケ敷い、譬ば雪舟など〻言へば日本美術史上の大畫家だといふことは三歳の童子でも知つてゐるが、さてその作品を觀てその大畫家なる所以を理解の出來る人は少ないだらう、といふやうなことが述べられてゐた

僕は宮相の美術眼に敬意を表したが、そういふ事情は、古今東西を通じて枚擧の煩に耐えぬほどあること〻思ふ、現代の畫家に於いても常に觸れる問題であるし、後世とても解決されるとは思はれない、つまり畫家は一生を自分の仕事に打込む立場にあり、美術家として前人未踏の境地を開拓しやうと努力するそして、その成果が第三者に理解される迄には多少の日數を要することは、極めて自然な道理である、卒直な話をすれば、僕の田舍の親戚の者などは、最少し素人にも分るやうに描けといふ、ところが、東京に於ける小數の僕の後援者などは思ふ存分の作品を描けといふ

或る人はまた、支那や日本の古い畫家の傳記などを讀んでそのとほりの作畫や仙人的生活方法までも要求しやうとするつまり、觀る方の藝術眼の深淺、廣狹によつて、各々注文が違つてゐる、

◇

坪内博士の「逍遙殘叢」の中に「理想は立脚地を現實界に有せざる可らず、恰もウオルヅウオルスが雲雀の飛揚に譬へしごとく、雲雀の高く飛ぶや、雲霄を凌ぎ決して地上のものにあらざるが如き感を起さしむるも、立脚の處は遂に地上にある同じやうに……」とあるが、理論としては既に陳腐、誰でも知つてゐることでありながらさて日常畫家に強いられるところは以上の常識程度にまで行かぬ場合が多い、畫家を通俗的なポスター描きにするか、老子の枯葉でも飲ませる氣でゐるので藝術の眞の意味や歷史の動き社會の進化を度外にしての論なのである、結局思ふ存分描けと言つてをられる人ほど最も良き理解者であらう、

昨年益田孝氏が各國產米のカロリーを研究されてゐる發表を讀んだことがあるが、同氏が三井の顧問であり、大資本家であることは別として、自分の仕事に對しての態度の深さに訓えられるものがあつた

或ひは、同氏の研究が、却つて勞働者のためにならぬかも分らぬ、または日本人の役には立つても支那人の爲にはならぬかも知れぬ、けれども僕が訓えられたといふのは、同氏が調査部などの人手を借りず自から動物を飼育して米のカロリーなどを試驗をしてゐるといふ、その周到な心がけを問題としてゐるのである

一般の人々が展覽會その他で畫家の作品を觀られる場合でも、その作者の奧底に藏する根深い思想をまで詮策して觀て貰へたらばと思ふ、我々は實業家ではないので米の研究はせぬが、多くの畫家は、實業家が各地の米を集めてカロリーの研究をしてゐるやうなことを畫布の上で常々やつてゐるので、畫背を透して其處まで鑑賞の眼を進めて頂きたいとれがふのである

◇

右のやうな意味を個人の場合でなく、日本畫壇の分野の上から見れば、對照的に截然たる區劃をしながら説明されると思ふ、

帝展は政府の保護の下にありながら、常に保守的で、藝術としての致命傷はその餘りに通俗、底調な畫境に安住してゐることである、勿論汚なさや荒つぽい繪ばかりが藝術的で、非通俗といふのではない深さばかりで、技巧は幼稚でも優良なる藝術とは言はれない、事實、そういふ場合はあり得ない、が、福島繁太郎氏も指摘されし如く、現代日本の所謂洋風畫は、常に二科會が基礎となつて發展し、進歩して來たのである、同氏の言葉を借りれば、「二科會は我が洋畫の育て親であり、帝展さへもがその影響を被つて引ずられて來た」と言ふことが出來るである

これはもとより、石井、有島安井、山下、正宗、坂本等大先輩の勇氣決斷と、美術の深い理解に俟つこと多く、それに若い出品者が和したからである

二科會の一貫した方針として踏んで來た道は、自由な、とらはれざる個性の發見と、その培養とであつた、今後と雖も恐らくこの方針は變らないのだらうと付度されるが、その唯一の強味は、日本文化の發展と常に同軌にあつたことであり、一つのイズムに固着しなかつた進取的態度にあるのである、かの藤田氏が二十年ぶりの歸朝に於いて、帝展の審査委員を棄て二科會に加入したのも理由のないことではないのである

◇

文章を一氣に書けない僕は、前日に此處まで書いてから、目下美術館創設十周年記念として東京府主催で開催されてゐる現代綜合美術展覽會を見に行つた

綜合美術といふだけに、現代の各派、帝展、二科、院展其他各派の作品がならんでゐる日本畫、洋畫、彫塑、工藝といふ種目で、受賞、無鑑査以上の人選である、僕はこの展覽會を或る研究的な心持で觀たが、兎に角、先輩や同僚或ひはまた自分の作品を、所屬の違ふ人々の間に伍してならべられたのを比較研究することは、いろ〳〵の意味で有益であつた

年輩の相違から言へば多くて二三十歲を越えぬ、言はば同一時代の畫家の作品であるから、後代の人の眼からみれば光と闇といつたやうな極端な相違はないかも知れぬが、下品で無感覺な作品の多い中に珠玉の如く人を魅了するものは、結局物の描かれてゐることや、色彩、構圖、筆勢、感覺其他、美術製作上の種々な條件を綜合した結果として、その作品にある嚴然たる品格と深さだといふことであつた

日本從來の鑑賞語として、能品、妙品、神品、また素人が描いたる傑作を逸品といふが言葉は違つても本質的內容に變りなきものである、品格とは上滑りな、お上品といふ意味ではない、日本畫などには殊にそういつた薄つぺらなお上品な作が多いが、それは品格といふべきものではない、妙品や神品の繪にさへ品格の缺如はあると、批評家は言つてゐるほどである、つまり我々畫家としても深さと品格のある作品があがきたいし觀られる方でもその點を眼目して鑑賞されたいと希望するのである―(完)―寫眞は氏の作品―

爆擊機

啓佐吉しつかりしろ!

鈴木啓佐吉が「藝術滿洲」の記者の訪問を受けて滿洲に於ける文藝について語つてゐるまあ昭和五年からといふのだから思ひ出話は甚だ結構である、だがその滿洲文藝の將來のために考へてゐる所は甚だ薄弱で一定の角度といふものがない

× ×

「滿人の生活に頭を突込んで此方面に鋤を加へて行き度いと思つてゐます」はいい、しかしこれには相當な用意が必要なのである、單に研究だけでなしに自身を打ち立てることが要求される、啓佐吉よ、しつかりしろと言ひたい(新京探題)

自然の愛

白光丕
川内堯譯

白い海に彼女の胸がつつ立つてゐる
青い空に向つて
見え隱れする小島
(處女の乳房だ)
それを愛する人の前に捧げるのだ、潔い愛、明るい愛、
深い愛永遠に、永遠に、永遠に變らぬ!

春素描

蒲團を背負つた苦力が
一本の笛を持つてゐた
長さ西尺ばかりの明笛を
賣る何物をも持たぬ故に彼は
勞働を賣る
しかもその間に忘れぬこの詩情!

×

西公園の入り口
お子さんを連れた情報處の宮脇さん
肩にはカメラを掛けて
「やあ、みんな穴から出て來るな!」

×

三人連れの藝者
一人はヴエールをかぶつてゐる
「兵隊さんに挨拶に行かうか」

×

鳥のゐる檻の前
ベンチには四人の子供
二人の滿洲國軍人さんが
平和會議を開いてゐる
「こら、君が一番おてんばだろ…」

×

喫茶店の午前十一時
みんなまだ寢てゐる
薄暗いホールの椅子にまたがつて
扉を開け放つと
人生が見えるやうな氣がする

×

子供を背負つた鮮人の女
教會からの歸りであらうか
厚いバイブルを持つてゐる

×

アパートA…館
「貸室アリ」の札の上に
チョークで×印を書いてある

×

娘が一人街を行く
春の外套は白い
黑いハンドバックの中には何がある
彼女の胸の底には何がある

×

春日遲々
風もなく麗らかな日曜 (Y)

短距離競走に於けるスタート技巧と缺陷の矯正方法

―下―

膝頭に深い屈折を意識しながら胸へ挙きつければ、後脚は充分に伸びてくる、この動作の反復を表現すれば腰部の動きは脚の正しき動作に從ひ自然に前方高く約り上げられゆくことを自得する

[illegible]發足法の特徴は、踏足後の數歩或は十歩目までは上体は相當に深い前傾の角度を保つて疾走する點である、若し發足後の第二歩、第三歩、第五歩目邊で、上体が著しく立つ走者があれば、それは躓足發足法の体勢を自ら破壞しこの効果を有效に利用せぬことになつてくる前に述べた如く出發の第一歩目より全速力の速度は表現は出來ぬのであるから空氣の抵抗を僅少にして居る体勢を巧に利用し腕と脚との積極的動作と相俟つて自然に圓滑に、全速力疾走型に移るべきである

『出發七八歩目から十歩目位の距離の處で前進が一時止るが如き傾向のある走者』出發後七八歩目から十二三歩目からは走者の速度は正しき技巧の表現さへ繰返されて居れば著しく速度は增大されてゆかなければならぬ地點である、それにも不拘反對に瞬時前進が停滯するかの如く見へ此の地點から更に前進を始めるが如く觀察し得る走者や、此の地點で速度が非常に鈍くなつたりする傾向のある走者は、寧ろこの距離で人一倍努力し「もがいて」居る、努力し精力を費して居るにその努力に比較して速度に乘つて居らぬこの原因は出發後の技術の巧拙にあるのでない

それは發足の瞬前用意の姿勢の時、兩腕に身体の重みをかけ過ぎて居ることに基因して居る、兩腕に体重をかけ過ぎて發足を起した時は脚は迅速な前進動作を開始したのに、腕の動作は用意の姿勢で余りに負擔が過重であつた爲、脚と同樣迅速な活動の開始が出來ぬことになつてしまつて居る、この狀態では脚の動作が速度を調節する主動機關になつて腕の動作が補助機關にならざるを得ない、上体が深く前へ倒れて居るときに身体の均衡を保ち、更に速度の增大を計る主動機關は、實に腕の動作であり、寧ろ脚の動作は補助機でなければならないと筆者は考へて居る、脚の運びの早さは常に腕の動作よりも早い勝ちになるのであるがそれでは不可である、腕の動作の速度が脚の運びの早さを不絶「先導」しなければならぬ、出發の瞬前重い負擔を負はされた腕が積極的動作を反復せずそれ、脚のみの力で七八歩目までは前進を續けることが可能であるがそれから先は人一倍の意識した努力を拂つても期待した速度には惠れぬし「もがいても」その効果が薄いのである

走者自身に自覺がなくとも又外的の觀察では左程に感じられなくとも、走者の身体の均衡は全く失はれて居ると謂つて決して過言でない、に既均衡を失つて居るから人一倍努力し又「もがく」のである均衡を失つた身體を正しき體勢と且つ順調に戻すには、腕の力を借用しなければならぬ即ち脚の運びの早さを一時緩め、前傾して居つた身体を立て直す爲めに時間を費すか、それとも脚の動作と完全一致するまで、脚の迅速に活動した狀態を鈍らして居る間に、腕の動作が急いでその調子を合すことに努力しなければならぬ斯の如く停滯し躊躇して居る間に、競走の相手は遙か前方へ、そしてその背後を追走する悲哀を感しねばなるまい

心持良いスタート發精力を徒費せず而も迅速な出發は『正しき用意の姿勢と正しき出發の觀念から』生れ出るものである

(終り)

クラブ美身クリーム・クラブ淡白クリーム・クラブコールドクリーム御愛用者並に販賣店優待大懸賞に對する大方各位の熱誠なる御聲援御應募を厚く感謝致しますお蔭を以て應募總數四十六萬二千四百〇六名樣の多數に及びましたので、新聞社通信社、同業新聞社並に所轄警察署御立會の上、嚴正公平なる抽籤の結果左の通り御當籤者を決定致しました。謹んで御報告申上げます。

特別賞　日毛特選 流行手編用 純良毛糸 一ポンド宛　外に(副賞)美容と編物パンフレット(一冊宛)　三千名

ニッケ純良毛糸三千ポンド贈呈

愛用賞　クラブはき白粉セット(流行の十二色組合美裝函入)　プラトン文具セット(シャープ鉛筆封緘便箋組合)　何れか一函宛　七千名

優待賞　クラブあぶらとり紙　クラブカテイ洗粉　家庭一品藥プラターム(小罐)　何れか一品宛　五萬名

御注意

愛用賞・優待賞は賞品の直接御送附を以て發表に代へます。賞品は總て發表後一ケ月以内に貴着するやう發送致します。答案お取纏めの販賣店に對する地方最高賞並に全國最高賞受賞店芳名は近日中に直接御通知申上げると共に全國同業新聞紙上にも發表致します。

クラブ化粧品
カテイ化粧品　總本店
中山太陽堂

自動車ギャング犯人は何處？

全警察機關總動員 犯人逮捕に徹宵活動

助手なき車を選んでの計畫的仕事

手懸りは血染の手袋

十五日午後十一時過ぎ新京驛から北安路白菊小學校土堤下に至り富士屋タクシー運轉手榊原新一氏を短刀で刺し十圓を强奪逃走した二人組ギャングにつき、新京署、領事館署とも司法係は總動員必死となつてこれが逮捕につとめてゐるが犯行前後の模様を詳細に調べて見ると午後十時四十分頃（九時四十分は誤り）榊原運轉手が國都ホテルより十一時の汽車に乘る客を送り驛玄關から歸らうとする時玄關向つて左側の柱の蔭から小柄の一日本人が出て來て關東軍司令部積まで命じ乘車し車が正に動き出さうとする時今一人の男が飛び乘つたらしくそれはどこから來て乘つたか榊原氏は知らなかつたと云つてゐる、又小柄の男が乘車した前後の模様を見るに驛に來る自動車を物色して助手の居ないものを狙つてゐたやうにも思はれ何だか普通の客とは違ふといふことがピンと頭に來たと語つてゐる、更にギャングは最初から計畫的にやつたといふことは明瞭であるが指紋を殘さぬやう手袋をはめてゐたところから推してかういふ事件に經驗があるといふことが首肯出來る、格鬪後逃げる時遺棄した血痕附の手袋を見ると左手の外に二三ヶ所刀痕があるがこれは榊原氏を刺した短刀の血痕を拭ふ時の傷であることは歷然である、尙其の後の犯人の足どりについては午前二時過ぎ關東軍司令部附近をうろ〳〵してゐる二人連れの男を見たといふ情報もあり、兩署では犯人は未だ市内に潛伏してゐるものとの目星をつけ且つ人相を頼りに片つ端からしらみつぶしに捜査網を延してゐるので逮捕は最早や時間の問題と見られてゐる

總局消費組合設立 噂だけの幽靈話

商業團体代表啞然

第五次臨時總會は取止め

十四日奉天で開かれた全滿商業團体聯合會の決議により各地代表は十五日鐵路總局を訪問し同局消費組合設立計畫中止方に關し陳情をなしたところ、同局においては消費組合の設立計畫など全くなく却つて鐵道沿線に邦商の進出計畫を進めてゐるとの全く豫想外の回答を得たので、十六日新京各方面に對する請願、ハルピンにおける宇佐美局長への直接陳情およびこれが對策を協議するため十八日新京において開催の豫定だつた第五次臨時總會を取り止め吉澤前總領事の回答を待つて今後の對策を決定することゝなつたものでなる鐵路總局の回答の要旨は

商工業者多數を未開の奧地に入れて滿蒙の地を大いに開發せしむべき重大指命を有する鐵道が商人の奧地進出を妨害するが如き行爲は斷じてするものでなく、從つて消費組合設立の計畫ありやに傳へられるのは全くの虛報である、たゞ奧地の最も不便な所に勤務する從業員のために厲祉係で慰安列車を出すことになつてゐるが、これとても現地仕入れによる商品を積み込んだものであるからよく諒解されたい

附屬地防護團 打合せ會

鐵道防護團も成立

新京附屬地防護團編成打合會は既報の通り地方事務所會議室で十六日午後一時から武田地方事務所長、四戶在鄉軍人聯合分會長、高木航空中佐、廣石警察署長、大原、得丸正副地方委員會議長以下各委員各區長、滿鐵各箇所代表その他四十五、六名出席の上開催鐵成原案に基いて審議協議、終つて防空協會新京支部長高木中佐から新京防空について詳細講話あり同三時半散會した、なほ防護團の編成は左の通り決定

新京附屬地防護團々長田胤雄氏、同副團長四戶友太郎氏、第一分團（鐵道北區）第二分團（富士區、三笠區吉野區、日出區）第三分團（中央區、西廣區）第四分團（白菊區、新發屯區）

同時に鐵道防護團も成立同團長には新京鐵道部出張所長古川達四郎氏が推薦されたなほ各區分團長は武田團長から指命されるはず

ダイヤ街露店 百五十軒公募

ダイヤ街の露店もいよ〳〵五

大連のモヒ密造 犯人極力搜索中

【大連國通】國際都市の名を以て誇る滿洲の大文化都市大連、而も夜尙明るい新開地連鎖街の眞中で大膽にも自宅の地下室にモヒ、コカインの密工場を構へ巧みに當局の目を晦ましつつ禁制品の大量密造を行ひつつある事實が發覺し當局を極度に狼狽させてゐるを行つたところコカイン二ポンド（價格約一千圓）を所持してゐるので更に嚴重取調べを續行した結果遂に犯人の口から次の如き驚くべき犯罪事實が暴露された、即ち

右の二名は市内敷島町廣泰號店員楊樹榮及び李某で市内連鎖街本町通り（藥商）南勝太郎より天津方面への運搬を依頼されたとの事で同署では十六日早朝總動員で南方の家宅捜索に赴いた處既に犯人南は逃走、何れへか姿を晦ました後であり地下室にはモヒ、コカイン製造器具藥品の外にコカイン類が殘されて居り、一行は一先づ器械藥品類を證據物件として押收引揚げたが同藥店には犯人勝太郎の外に妻子は總て居殘つてゐる勝太郎の行方も一兩日中には判明するものと見られてゐる

公園の入場に 定期券も發行

一期間が大枚二圓

西公園の入場料はいよ〳〵今十六日から徵收を開始したが一回の入場券が二錢、ほかに三十回券が五十錢、一期間を通じて二圓、いづれも公園入口で賣出される、常に公園に出入する西公園黨に取つては期間券は一番便利でしかもお德用だといふので大評判、勿論何度入場されても自由勝手である

月一日から開くことに決り、近く一般から募集することゝなつたが公募軒數は百五十軒で申込み順に受付け、場所も申込み順によつて選定決定することゝなつてゐる、會費は電燈料、借地料その他を合して一ケ月四圓五十錢で每月前納のこと、申込みに際しては二ケ月分の會費と電燈取付料二圓三十五錢合計十一圓三十五錢を納入することゝなつてゐる なほ申込み受付期日は二十日から二十二日ごろまでの豫定である

即ち去る十三日午前十一時大連汽船天長丸が出帆の眞際に二人連れの滿人一等船客を擧動不審と睨んだ水上署高等課土屋刑事は右二名を同署に連行、司法係に於て所持品檢査

國都遊覽飛行

第二回は來る廿八日

一般に空の知識を與へるため滿洲航空會社新京管區では過般遊覽飛行を催したところ豫想外の好成績を收めたので來る二十八日の日曜日を期し第二回國都遊覽飛行を催すことになつた、當日は午前九時から新京飛行場で開始、飛行機はスーパーユニバーサル六人乘りを使用し料金は五圓である申込受付は同飛行場事務所と驛前ツーリストビユーローでなすことになつてゐる、因に當日は驛前から飛行場まで電業公司のバスを運轉することになつてゐる

交通訓練第一日は 人馬とも悉く違反

日置巡査が指導に來京

新京警察署では十六日を期し附屬地内一齊に交通訓練を實施した、當日外勤及び各派出所員約百名を動員市内交通機關通行人に訓練を行つたが曾つてかういふことを行つたことがないので全部違反だらけであつたが署では交通訓練の趣旨に即し懇切叮嚀に指導し故意に違反するものは容赦なく處分する方針で進む筈である右につき木内保安主任は語る

兎角今まで交通訓練などといふことはやつたことがなかつたのでみんな違反だらけだ、これを大連位にするには早くて一ヶ年はかゝるだらう、要は違反者を處分するのではなくて訓練するのであるから仲々骨が折る仕事だ、昨年東京の警視廳交通班から選拔されて大連の交通指導に當つてゐた日置巡査が今日から新京署に來て指導することになつたのは何より幸だ、こういふ仕事は警察だけでなく市民が呼應してやつてこそ其の實が擧るのではないかと思ふ

新京人の家庭に つぎ込む園藝趣味

本年は草花一萬本を栽培

社會係で無料配布

稍もすればすさみ勝ちな在滿人の家庭に柔みと懷しみをもたすのは何といつても園藝が第一だと地方事務所社會係では昨年來頻りに滿鐵社員家族を初め一般にも極力家庭園藝の普及をはかつて來たが、本年はより一層この方面に全力を盡したいと播種期に入つた昨今、トマト、茄子苗を始め草花數十種を取寄せ十六日から種蒔きにかゝつた、世話役は野村社會主事をはじめ高橋社會係員以下社會係總動員で昨年は四千本程度に過ぎなかつたが本年は一萬本以上にもおよび、施肥その他萬端の準備を整へて一ケ月間ばかり日夜栽培に全力を盡して春も酣の五月中頃までに一般に無料で配布しやうといふのである

儲かる公會堂

喫煙室增築やピアノ購入

理事會で承認さる

新京記念公會堂第五回理事會は十五日午後四時より開會理事長吉澤清次郎氏退任補缺として總領事川村博氏を理事長に推薦川村氏より就任挨拶あり續いて吉澤前理事長及び當務理事付として公會堂の爲盡粹したる土屋基男氏に記念品贈呈の件を可決、昭和九年度決算報告、增改築委員會現計報告、昭和十年度豫算案、同事業計畫案、食堂增築案等を審議何れも原案可決七時閉會

記念公會堂昭和九年度決算

収入之部	
本年度收入高	一五、五三五、二二
前年度繰越高	一九、七九九、六三
合計	三五、三三四、八五
支出之部	
本年度支出高	一二、六六九、七六
增改築費支出高	一〇、九五九、七七
合計	二三、六二九、五三
差引剰餘金	一一、七〇五、三三

之を處分する事左の如し

公會堂基金	一〇、〇〇〇、〇〇
翌年度繰越	一、七〇五、三三

なほ十年度剰餘見込金及前年度繰越金計一萬一千七百圓を以て左の事業を行ふを可決した

一、講堂東側に幅二間半長さ十間の喫煙室を增築

二、西側長春座との境界線に鐵筋コンクリート柱板塀を設ける

三、表道路修繕地下室暑便所改造、本館煖房修繕

四、グランドピアノ一台購入

五、擴聲器兼用電器蓄音器一台購入、食堂も增築

記念公會堂食堂は舊撞球室を改造し請負人落合幸之助氏の手で愈よ十六日より一般營業を開始したが場所狹隘にして到底新京市民の需要に應じ能ざるを以て、之が增築案を理事會に提出したるに何れも異議なく五名の委員を設け至急實現せしむることゝなつた、常務理事提出の原案によると現在食堂に接續して西側空地に約百坪の食堂配膳室、調理室等を新築し且講堂非常口よりも廊下を以て接續せんとするもので建築費一萬六千圓の見込みである

寄附

新京鐵道事務所川泰雄氏は今回大連沙河口驛轉勤に際しお子さんの西廣場小學校在學を記念して金十圓父兄會に寄附した

部局對抗野球 建設局優勝

十二對四で民政部敗る

滿洲國野球部主催各部局對抗軟式野球大會民政部對建設局の優勝戰は十六日午後四時から大同廣場で球審赤木、壘審甘利、山田、三審判の下に民政部先攻で開始されたが建設局の攻擊物凄く民政部必死で奮戰したがおよばず十二對四で建設局大勝榮へある鄭總理の優勝旗並に遠藤總務廳長の優勝盃は古海野球長から建設局森川主將に授與され盛會裡に午後六時大會の幕は閉した、この日西風は强かつたが優勝戰のこととゝて兩軍の應援團は水コリもいとはず一、三壘側を埋め盛に聲援を送り未曾有の盛況を見せた兩軍得點、メンバー左の如くである

得點

（先）民	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4
建	2	3	0	2	1	0	4	0	A	12A

建　1森山田　4桂山島　5手島澤　6藤野　2三橋　7浦谷　8小荒　9小西

民　5橋田口　7太野木　2田田　6淵津田　8笛池本　2米香　9 4 1木

滿國体育選手 豫定變更

皇帝御訪日交驩競技會に派遣の滿洲國体育選手一行は十四日東京に於て日本代表選手との間に競技を行つたが明十七日大阪に於て行ふ豫定の競技を京都に於て行ふ事とし、又下關に於ても山陽代表選手との間に競技を行ふこととなつたので一行の今後の日滿交驩競技豫定は左の如きものとなつた

四月十七日　京都
四月廿一日　下關・
四月廿二、三日　京城

尙一行は豫定を一日遲らして二十五日に歸還する事となつた

体聯弓道部の 本年度計畫

新京体育聯盟弓道部の十年度スケジュールは左の如く決定した

四月、十月各月弓道師範招聘
第一日曜（每月）月並會
新京會員、第一日曜變更の場合は順延とす

四月　開會式
四月二十八日　北部聯盟　同
新京に於て、鐵嶺、開原、四平街、公主嶺、范家屯、吉林招聘
五月十五日　新京神社奉納遠的大會　新京吉林范家屯
五月　全滿大會　新京
六月　鐵嶺、四平街大會遠征
同　リーグ戰新京全員
同　沿線遠征　開原吉林
同　團体選手權大會於大連
七月　沿線遠征　奉天、范家屯、哈爾賓約十名
十月
八月二十五日　全滿大會於新京遠的大會　於新京
八月　沿線遠征　奉天、公主嶺
新京招聘
九月十五日　新京神社奉納范家屯、吉林、招聘
九月廿二日　北部聯盟秋季大會（鐵嶺以北吉林を含む）
十月　全滿大會　於大連十名
同　遠的大會
同　個人選手權大會　於奉天約五名
十一月　リーグ戰　全新京
十二月　多季大會　於新京
一月—三月　素稽古褒賞

新京で一番便利であり又一番厄介なのは乘用馬車である、畜類の悲しさ場所おかまいなしに脱糞するので街が黄色にみへる

此始末に頭を惱ました揚句去年は馬の尻に糞袋をぶら下げたが成績不良、今年は一定の駐車場を指定して市中を隨意に客を拾つて廻らせぬことにした

ところがこれは不便が伴ふ雨の日、風の日駐車場まで行く市民の惱みが殘るのをどうすることも出來まい

交通整理上からは馬車をうろつかせぬに限るが、糞の問題は未解決のまゝだ

タクシーをうんと殖やしてちよつと手をあげたらどこからでも飛んで來るやうにして馬車を自然驅逐するより他はあるまい

と云つてまだ新京ではそれでは採算が立たぬと業者は云つてゐる、當局が馬糞掃除費をこの方へ補助すると云ふやうなことにでもして貰ふも歟目かな

女人婆羅門

（舞臺上演映畫化）

長田秀雄

西正世志畫

（百十八）

恐怖の夢（四）

最初、海上は上風で、油を流したやうに平穏であつたが、清水港を出てから暫らく經つて、俄に大暴風が起つた。

船はたちまちメリ〳〵と破壊して左に傾いた。乗客の八分通りはアッと云ふ間に激浪に呑み込まれて行方知れずになつてしまつた。

「梅子ツー」

と、叫んだ時、四郎兵衛の姿は既に激浪に飜弄され、奈落の底に墜下したり九天の高さに投げ上げられたりして、運命を天に任さなければならなかつた。

だが、梅子の方は、僥倖にも、難破した船の尖端部の帆綱にしつかりと掴まつて、懸命に悲鳴を擧げてゐた。それを微に認めて、

「梅子ツー」

そう叫びながらも、

（我子を助ける事も出來ず、見す〳〵海底の藻屑としては……）

とあせりながらも、四郎兵衛はいつか全く人事不省に陥つた。

暫らくして、ガヤ〳〵と云ふ聲に氣がついて、はつと眼を開けると、

「や、氣がついたか、やれ〳〵安心ぢや」

「しつかりしなされや」

と、云ふ聲、人、聲――一時に耳に、眼に入つた。

「拙者は、助、助かつたので御座るか……？」

すると、村司らしい老爺が、

「如何にも、あの難船で助かつたのは、貴殿一人で御座る」

「えツ、あの、拙者一人――しまつた。娘、娘は如何致して御座る……娘は？」

四郎兵衛は氣が氣でなかつた。

村司は眼を瞬つて、

「娘とは」

「拙者の娘にて、梅子と申す今年八歳になる者……」

「南無阿彌陀佛、南無阿彌陀佛……助命されしは貴殿一人で御座つた」

「えゝツー」

四郎兵衛は思はずがつくりと首を落した。前途が俄に眞暗になつたやうだつた。天に叫び地に叫んでも見たかつたが、今更それも詮ない事であつた。

暫らく涙ぐんだ眼で海面を眺めしさうにみつめてゐた四郎兵衛は、村の人達の獻身的な救助を深く感謝して、悄然と立ち去つた。

× × ×

一方、四郎兵衛の出立した後の留守宅では――

夜になると、お藤が書生の四郎を近づけて、とろりとした瞳を向け、

「もう一ぱいお飲み」

と、無理に盃を重ねさせて、ぐた〳〵に酔倒れてゐた。

「奥様、もう飲けませんや……」

「なぜそんな事を云ふの、どうしてそんな事を云ふの、この人はなぜかう情がこはいんだらう……」

「奥様……奥様は……」

「まだそんな事を云ふの……」

「私は末恐ろしう御座います」

「妾と一生苦勞してはくれないの……？」

「あゝ私はもう……すつかり酔ひが……」

「介抱してあげるから、もつとこちらへおよりよ」

「奥様……アッ、いけませぬ」

庭の八重梅が音なく散つてゐた。

二日、三日、四日、二人はもう離れられない仲になつてゐた。

そして、四郎兵衛が悄然として我家に歸つて來た時には、もうお藤と志賀四郎の二人は、どこかへ逐天した跡で、家は藻脱けの殻だつた。

（さては？）

と、氣がついたが、もう後の祭で如何ともしやうがなかつた。

四郎兵衛はたつた一人ぼつちのうつろな心で、「佳麗童女」と云ふ戒名で梅子の石碑を建てた。

そして、いつか心の淋しさをまぎらすために、好きな狩獵にふけるやうになつた。